© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

2027年3月期 2Q(4-9月)
決算説明会

2026年11月

東証プライム・名証プレミア：4658

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

【ご報告】測定機器の第三者発行校正証明書等の改ざん行為と今後の再発防止策について

事案の概要と経緯	概要：特定営業所にて校正証明書等を改ざんし提出（契約先の内1施設にて、2013～2026年まで）。 経緯：本年6月下旬、お客様からのご指摘による社内調査で判明。
事案への対応	顧客対応：対象のお客様への謝罪及び調査内容をご説明、全対象設備の再点検を実施中。 社内調査：全社横断調査の結果、**他案件での不正行為が行われた事実はない**ことを確認。
具体的な 再発防止策	**【企業風土の再構築】** 全役職員が社是を再認識し、また、当社の果たすべき使命を理解することで「言行不一致」及び「経営理念の形骸化」が発生するリスクを排除。 **【モニタリング機能及びチェック体制の強化】** 測定機器・校正証明書統合管理システム導入と、点検報告書提出時のダブルチェックを義務化・徹底。 **【社内研修・教育の実効性向上とレポートライン及びコンプライアンス・ホットラインの機能強化】** 継続的なコンプライアンス教育とホットライン機能の強化。適切な人事ローテーション等の検討。 **【適切な校正の実施】** 当社保有の測定機器について、年1回の校正と測定機器・校正証明書統合管理システムのアラート機能による校正未実施リスクの排除。品質管理推進者による校正確認の実施。
業績への影響	本件が連結業績に与える影響は、現時点で**軽微である**と認識。

※本件の詳細は、2026年7月31日開示の適時開示資料「当社従業員による不正行為に関するお知らせ」、2026年9月25日開示の適時開示資料「（開示事項の経過）当社従業員の不正行為に係る再発防止策及び経営管理責任に関するお知らせ」をご参照ください。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要	
会社名	日本空調サービス株式会社
証券コード	4658
事業内容	総合建物設備 メンテナンスサービス業
本社	愛知県名古屋市 名東区照が丘239-2
発行済株式数	35,784,000株
株主数	31,619名



1964年4月

名古屋市中村区東宿町（ひがしじゅくちょう）に設立

数字で見る日本空調サービス

資本金
1,139百万円

売上高
連結692億円

拠点数
国内47都道府県
90拠点
海外6カ国
10拠点

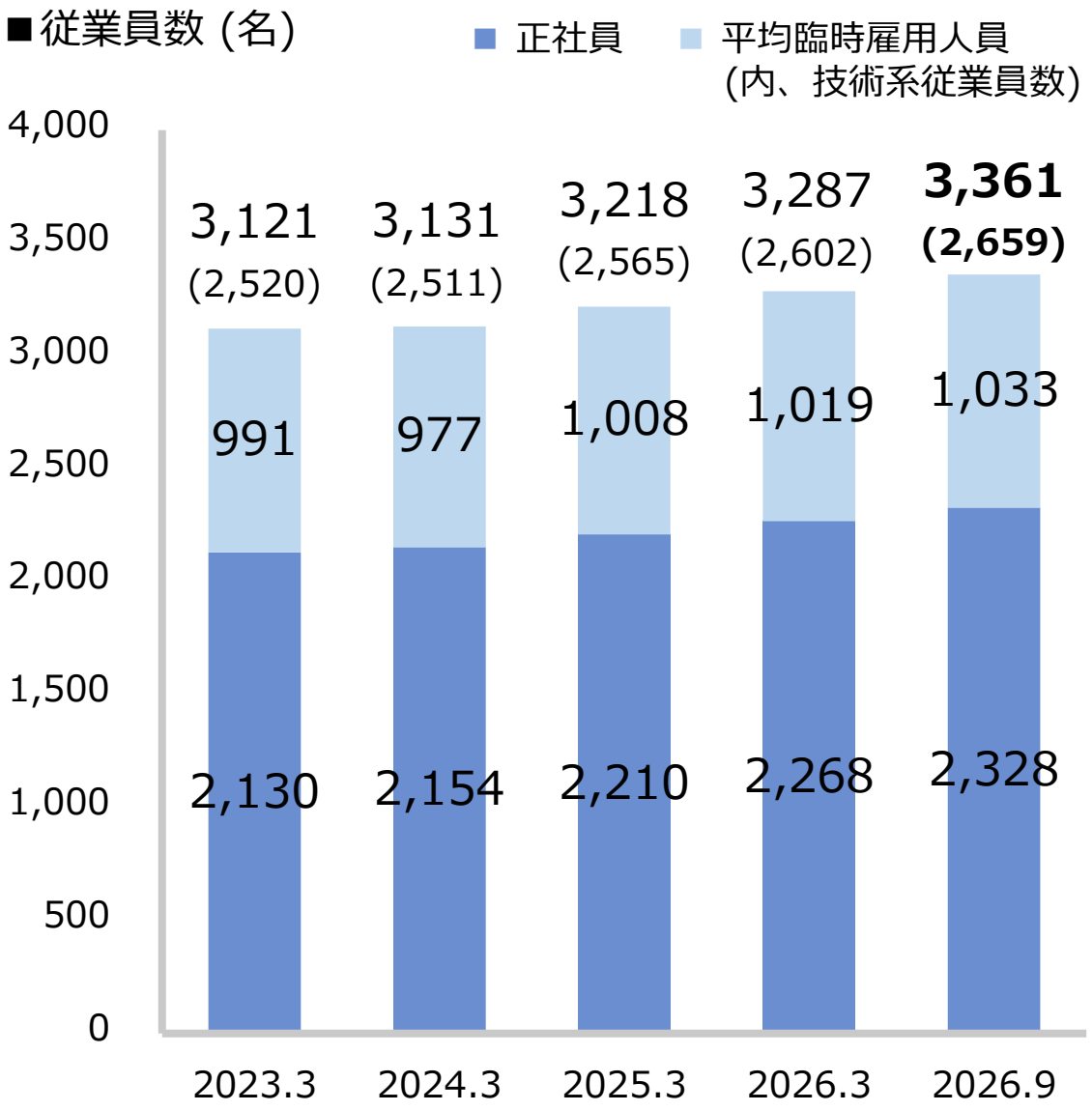
メンテナンス売上高割合
60.1%

従業員数
連結3,361名
（内、技術系2,659名）

※従業員数・発行済株式数・株主数は2026年9月末時点、売上高・メンテナンス売上高割合は2026年3月期実績、拠点数(住所ベース)は2026年10月31日時点。
※NACS BD Co., Ltd.は連結財務諸表に重要な影響を及ぼさないため、2024年3月期以降は連結の範囲から除外し、持分法適用範囲からも除外。
※NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.はミャンマーの社会情勢が不安定のため、2020年4月以降は営業活動停止中。

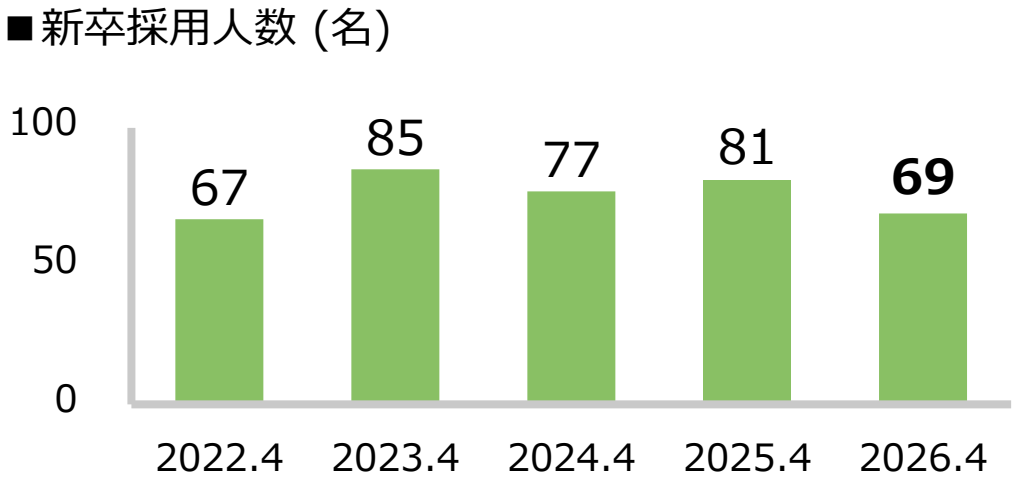
従業員数

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.



約8割が技術系従業員
技術の会社
▼
技術力向上の仕組み

- 体系的教育カリキュラム
- 昇格と公的資格のリンク
- インストラクター制度 等



※2022.4～2026.4 新卒平均採用人数 75.8名

技術・研修センター

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業価値拡大の要となる**「人的資本の価値向上」の加速**を目的とした技術・研修センターが2024年11月に竣工。
2025年4月より本格稼働を開始し、新入社員・既存社員向けの研修を随時実施。



所在地	愛知県名古屋市南区
竣工	2024年11月
稼働開始	2025年4月
延床面積	4,184.70m²
規模	地上5階建て
目的	企業価値拡大の要となる 「人的資本の価値向上」の加速



▲▼2025年4月実施の新入社員研修の様子



▶技術・研修センターの役割

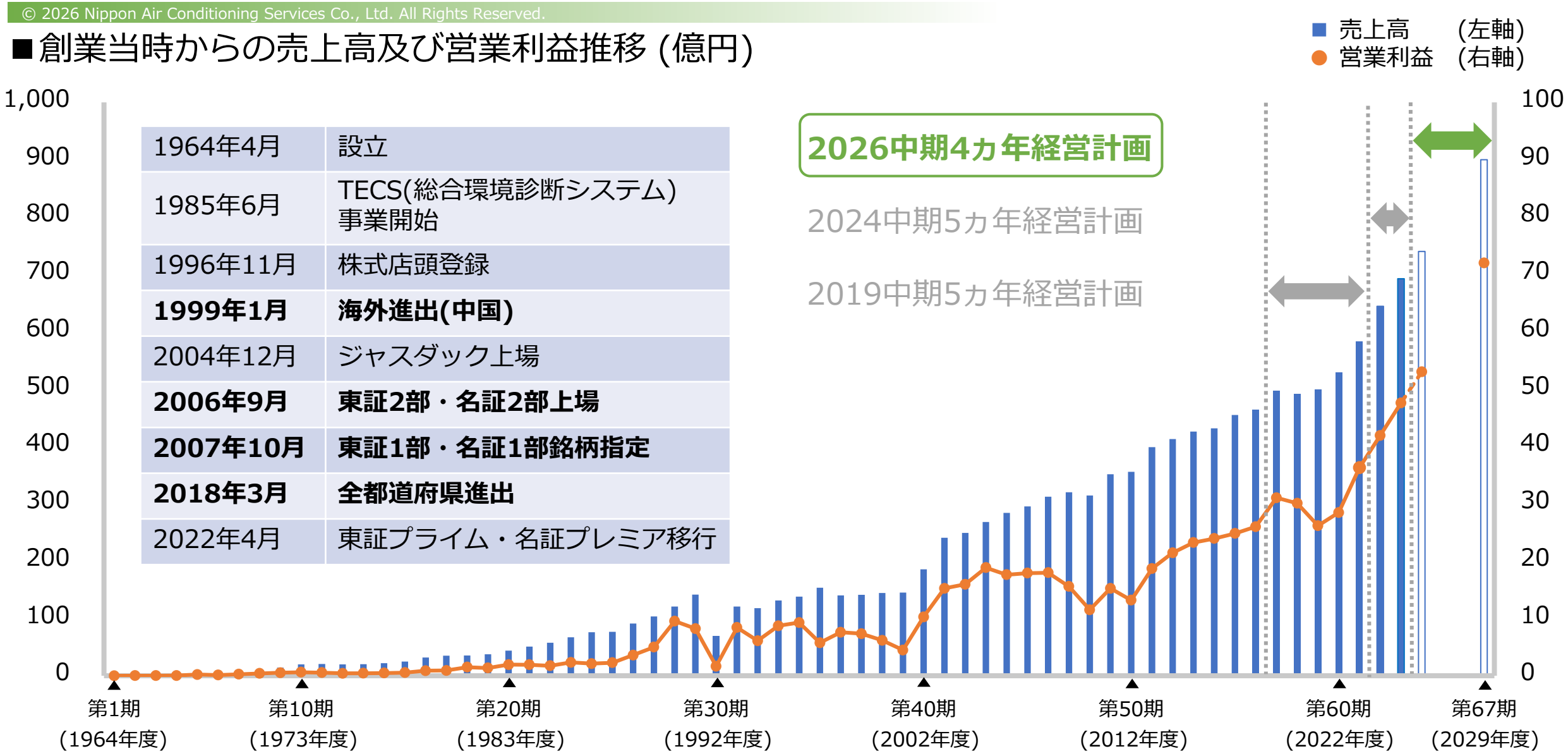
- クリーンルーム・機械室等の実際のメンテナンス現場を再現した研修設備を設置
- 新入社員が一人前になるまでの期間を短縮し、既存社員の技術力の強化や平準化が可能
- 採用活動や、入社後の社員の定着において高い効果
- 放射性物質、化学物質、微生物の全てを自社で分析可能な国内屈指の設備を完備（環境管理部）

創業からの歴史

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■創業当時からの売上高及び営業利益推移 (億円)

1964年4月	設立
1985年6月	TECS(総合環境診断システム) 事業開始
1996年11月	株式店頭登録
1999年1月	**海外進出(中国)**
2004年12月	ジャスダック上場
2006年9月	**東証2部・名証2部上場**
2007年10月	**東証1部・名証1部銘柄指定**
2018年3月	**全都道府県進出**
2022年4月	東証プライム・名証プレミア移行



※「2024中期5カ年経営計画」は、2年目にあたる2026年3月期において、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が最終年度（2029年3月期）の目標数値を上回る結果となったため、「2026中期4カ年経営計画」を新たに策定。詳細は、本資料P.22-P.28を参照。
※第6期(1969年度)及び第30期(1992年度)は6カ月の変則決算。

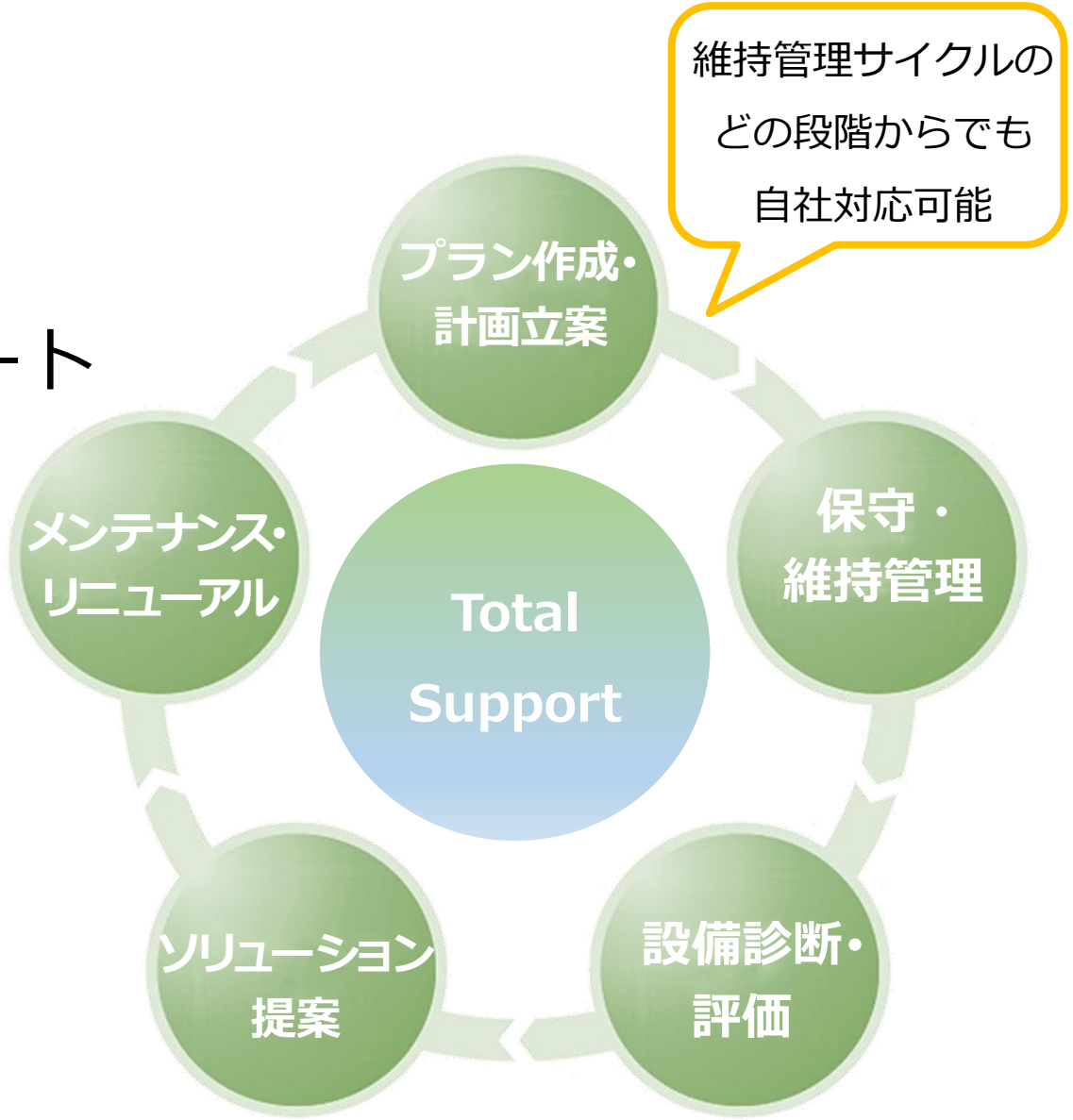
© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■事業概要

建物設備のメンテナンス・維持管理、
設備・環境診断、ソリューション提案、
リニューアル工事によるトータルサポート

✓同業他社とは一線を画す特長

①高度な技術力
②ソリューション提案
③トータルサポート



© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業部門	概要	売上高構成
PM Preventive Maintenance	お客様の施設に赴き、空調を中心とした建物の設備システム全般に対する点検・整備・修理・交換等を行う 	35%
FM Facility Management	お客様の施設に常駐し、メンテナンスサービスと日常の維持管理を合理的に組み合わせた統括マネジメントを行う 	29%
RAC Reform and Construction	空調設備や給排水衛生設備等の既設設備に対するリニューアル工事を中心に行う 	36%

※売上高構成は2027年3月期2Q実績。

Contents

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ. 2027年3月期2Q 決算の概要　p.07-p.21

Ⅱ. 中期経営計画　p.22-p.28

Ⅲ. 株主還元　p.29-p.32

Ⅳ. 補足資料　p.33-p.45

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

不安定な国際情勢や物価上昇等が続くと予想するものの、省エネや省コスト等に関する潜在ニーズを掘り起こし、増収増益を目指す。

(億円、%)

連結 (累計期間)	2026.3(実績)			**2027.3(予想)**		
	金額	売上高 比率	対前期 増減率	**金額**	**売上高 比率**	**対前期 増減率**
売上高	692	100.0	+7.5	**740**	**100.0**	**+6.9**
メンテナンスサービス売上高	416	60.1	+4.6	**440**	**59.5**	**+5.6**
リニューアル工事完成工事高	275	39.9	+12.1	**300**	**40.5**	**+8.7**
売上総利益	149	21.5	+15.1	**165**	**22.3**	**+10.6**
販売費及び一般管理費	101	14.7	+15.8	**112**	**15.1**	**+10.3**
営業利益	47.5	6.9	+13.5	**53.0**	**7.2**	**+11.4**
経常利益	51.0	7.4	+16.8	**56.0**	**7.6**	**+9.6**
親会社株主に帰属する当期純利益	36.9	5.3	+19.1	**39.0**	**5.3**	**+5.5**

※2024年・2025年・2026年3月期に続き、正社員の給与水準の引き上げ(2026年4月 平均5.2%)を実施。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

売上高：**318**億円(+8.4%)

営業利益：**28.2**億円(+22.2%)

親会社株主に帰属する
中 間 純 利 益：**19.0**億円(+20.9%)

※売上高・営業利益・親会社株主に帰属する中間純利益は2027年3月期2Q実績。

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～経営成績～

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

(億円、%)

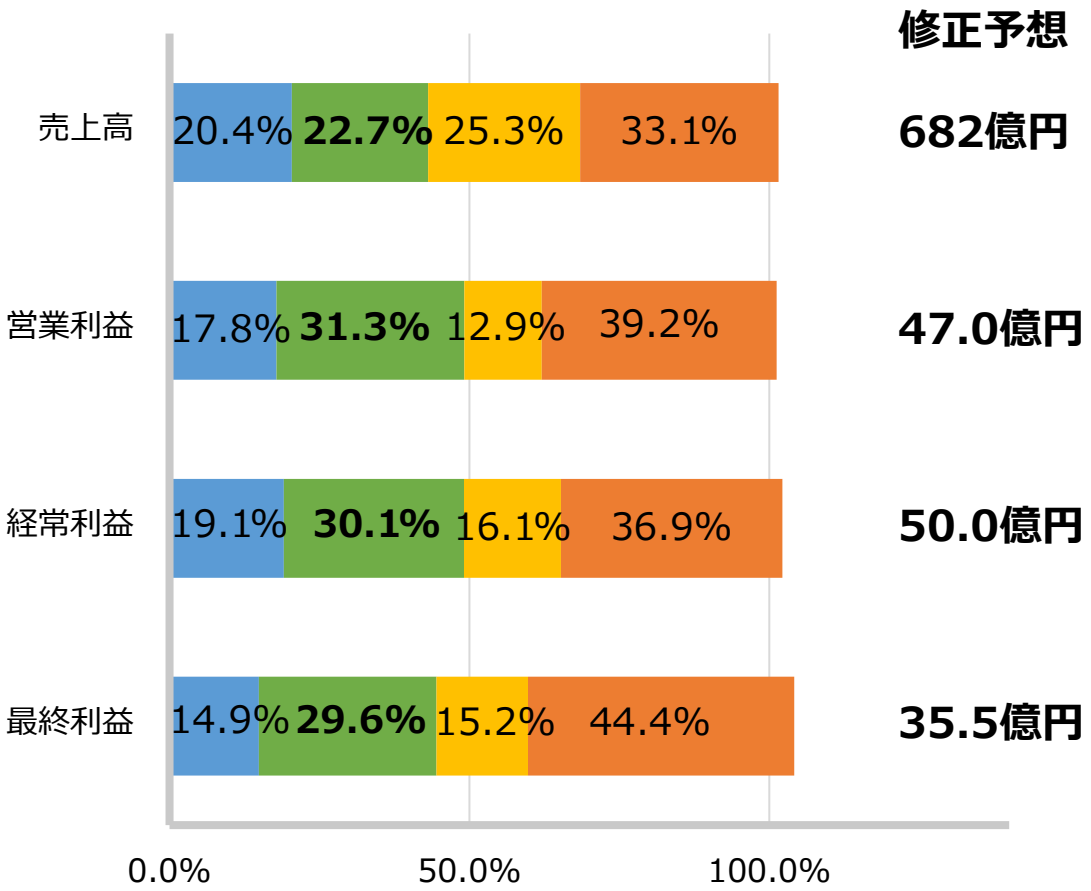
連結 (累計期間)	2025.3 2Q			2026.3 2Q			**2027.3 2Q**		
	金額	売上高 比率	対前年同期 増減率	金額	売上高 比率	対前年同期 増減率	**金額**	**売上高 比率**	**対前年同期 増減率**
売上高	269	100.0	+11.6	294	100.0	+9.2	**318**	**100.0**	**+8.4**
メンテナンスサービス売上高	183	68.2	+7.9	189	64.4	+3.0	**204**	**64.2**	**+8.2**
リニューアル工事完成工事高	85.6	31.8	+20.5	104	35.6	+22.4	**114**	**35.8**	**+8.9**
売上総利益	54.4	20.2	+23.3	63.9	21.8	+17.6	**71.6**	**22.5**	**+11.9**
メンテナンスサービス売上総利益	40.0	21.8	+13.8	44.4	23.5	+10.9	**51.3**	**25.1**	**+15.7**
完成工事総利益	14.3	16.8	+60.5	19.5	18.7	+36.1	**20.2**	**17.7**	**+3.4**
販売費及び一般管理費	36.5	13.6	+10.9	40.8	13.9	+12.0	**43.3**	**13.6**	**+6.1**
営業利益	17.9	6.7	+59.6	23.1	7.9	+28.9	**28.2**	**8.9**	**+22.2**
経常利益	18.8	7.0	+47.4	24.5	8.4	+30.4	**29.8**	**9.4**	**+21.5**
税金等調整前中間純利益	18.7	7.0	+46.6	24.5	8.3	+30.8	**29.8**	**9.4**	**+21.6**
親会社株主に帰属する中間純利益	11.7	4.4	+51.7	15.7	5.4	+34.1	**19.0**	**6.0**	**+20.9**
EPS（円）	34.24	-	+51.2	45.67	-	+33.4	**55.02**	**-**	**+20.5**

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～予算進捗率～

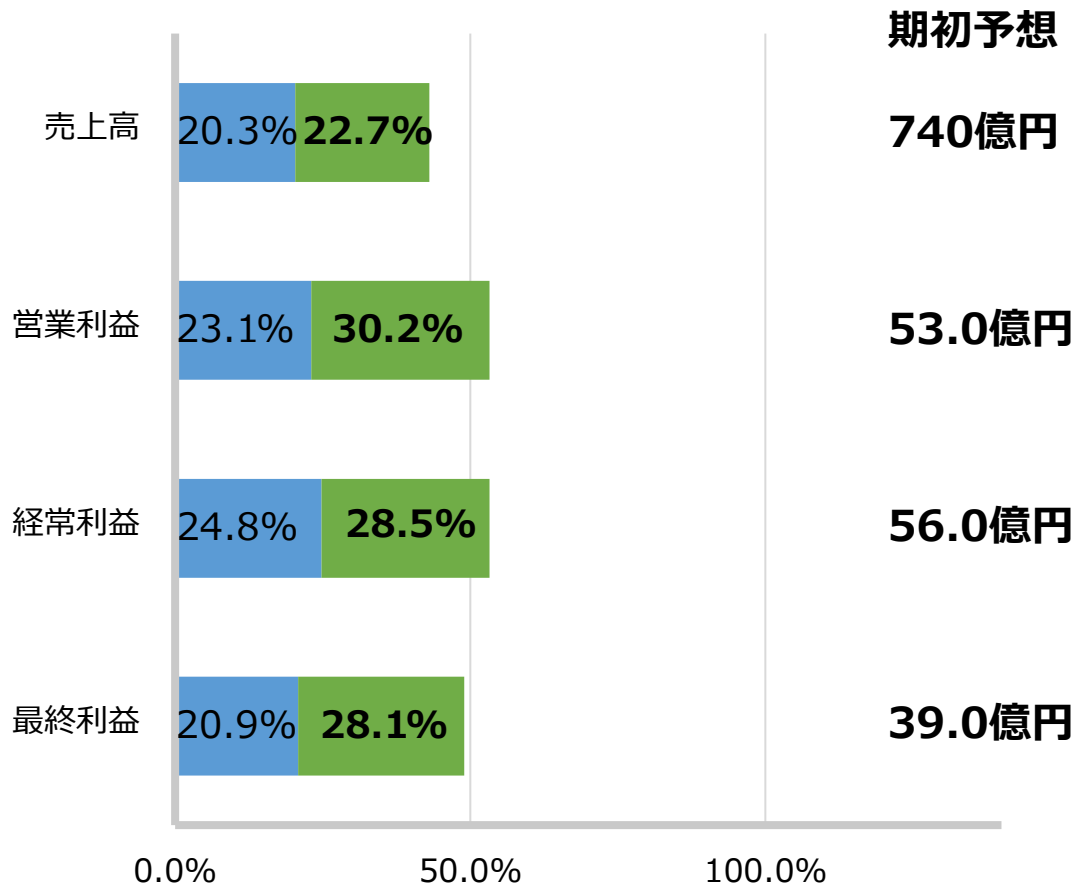
© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

前期に引き続き、競争環境の緩和や採算性の良い案件の獲得、高品質サービスの提供を前提とした適正価格での受注が奏功したこと等により、売上高・各利益は好調に推移。

■2026年3月期対予算進捗率



■2027年3月期2Q対予算進捗率



※最終利益は「親会社株主に帰属する当期(中間・四半期)純利益」を指す。
※2026年3月期予想は、2026年1月30日発表の修正予想を使用。

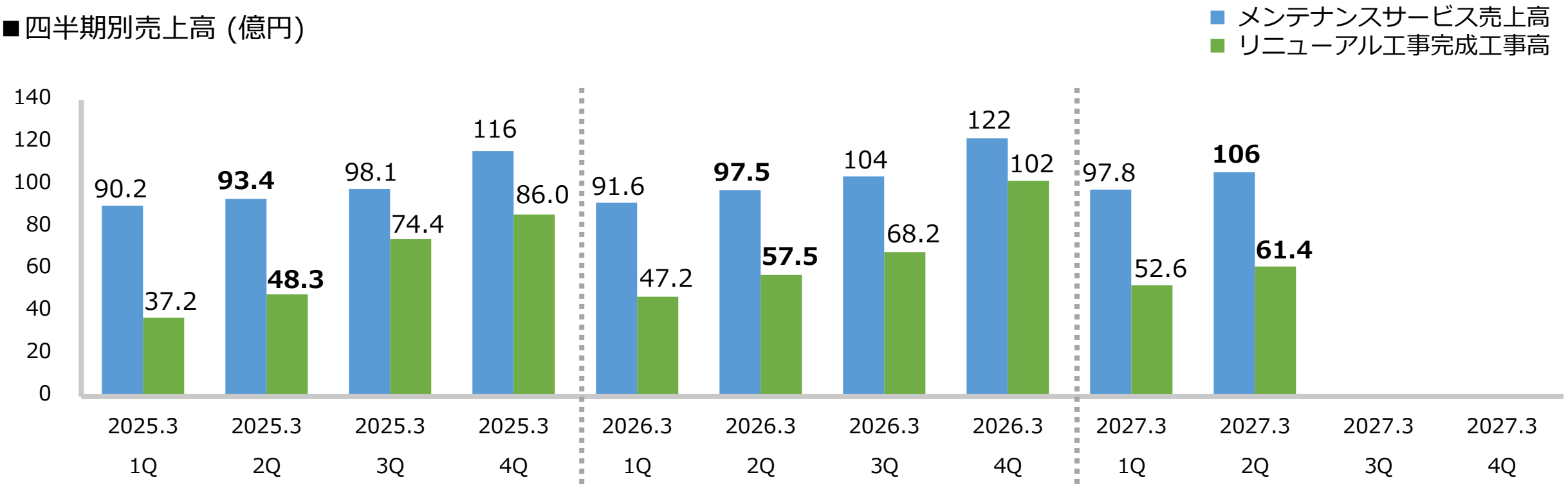
Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～四半期別売上高～

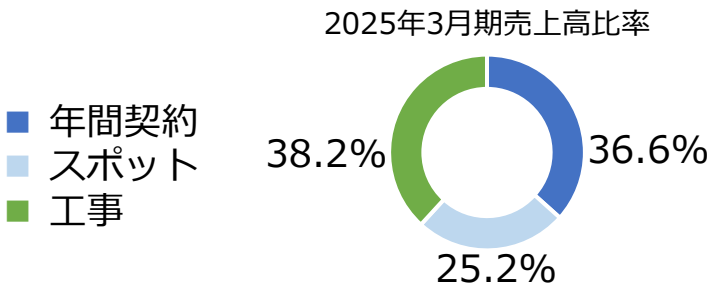
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

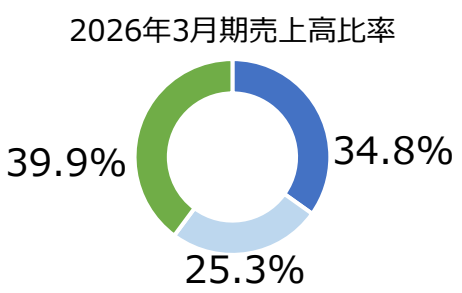
© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

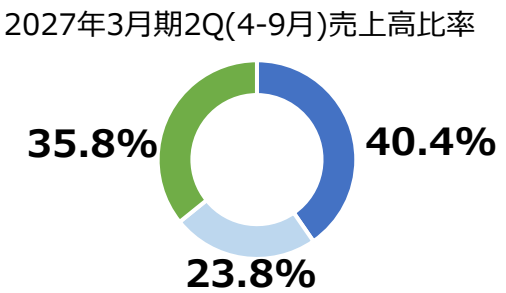
売上高は2Qにおいて4期連続過去最高。主力のメンテナンスサービスは、主に病院・学校等におけるスポットメンテナンスの増加により、2Qにおいて6期連続で過去最高。リニューアル工事は、主に製造工場・ホテル・病院での案件消化が好調で2Qにおいて3期連続過去最高。

■四半期別売上高 (億円)







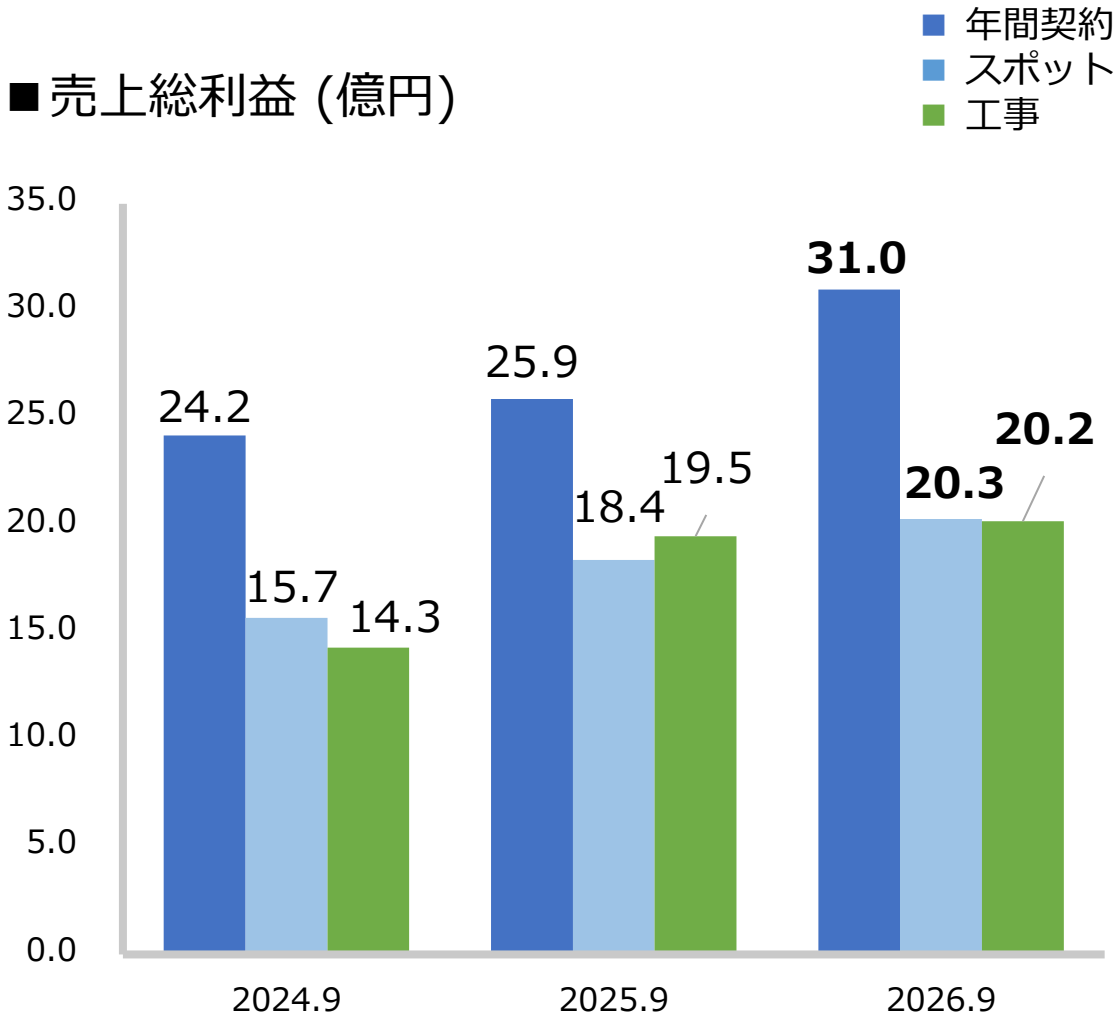


Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～売上総利益～

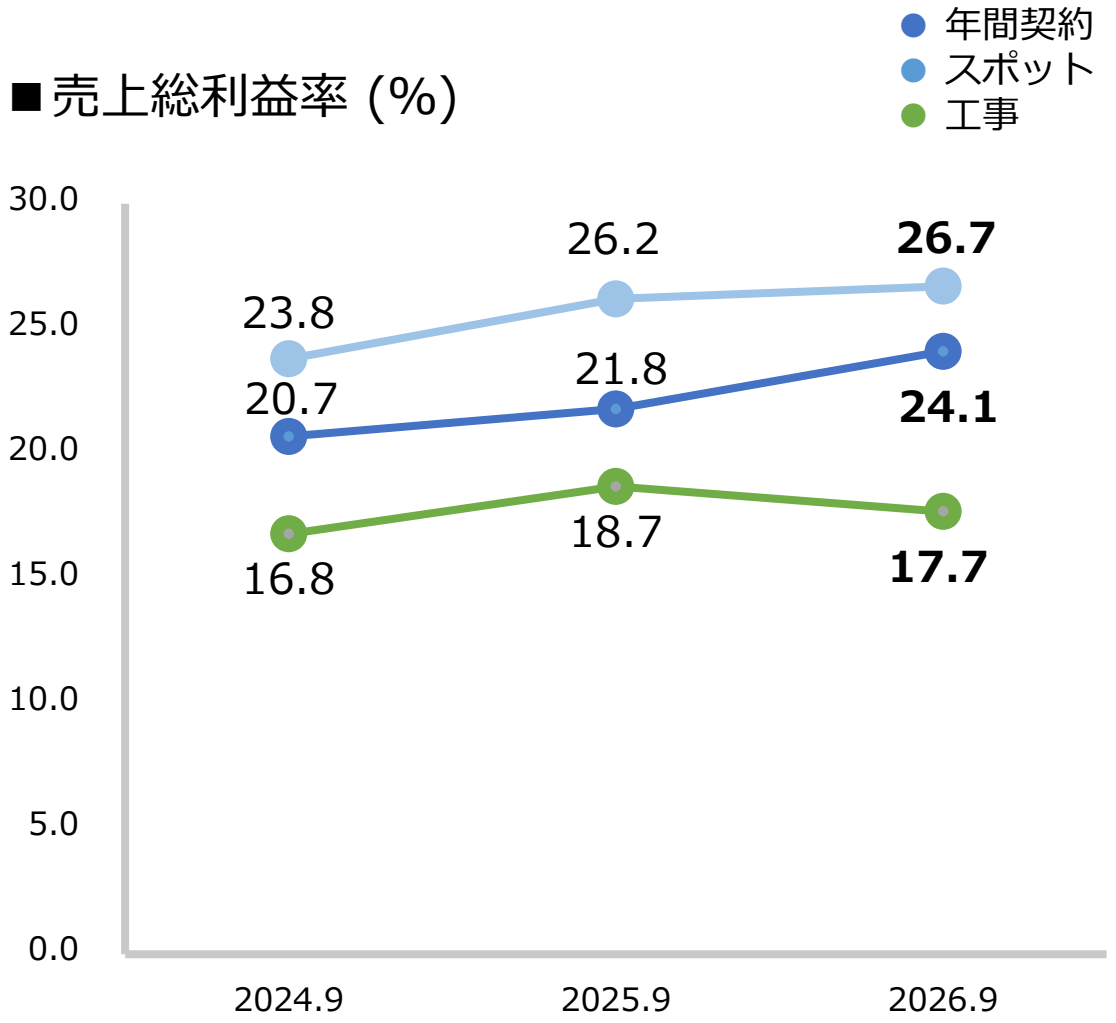
© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

資機材の調達価格や人件費の上昇等による原価の増加を吸収し、年間契約・スポット・工事の全てにおいて利益が拡大した。一方で、工事は前年同期比で売上高の伸びが鈍化したことや、利益率の高い大型工事案件がやや減少したことにより、売上総利益率が低下した。

■売上総利益 (億円)



■売上総利益率 (%)

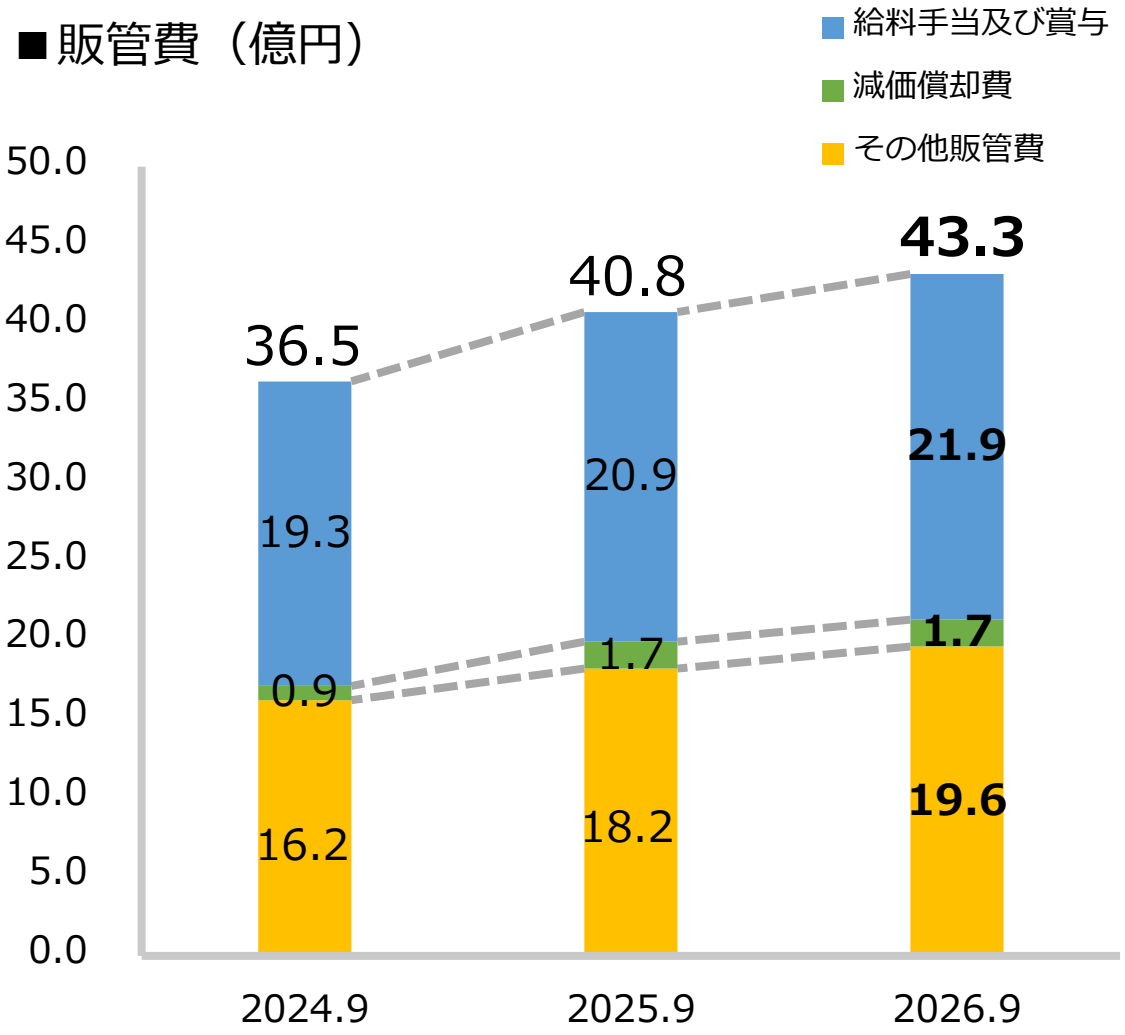


Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～販管費～

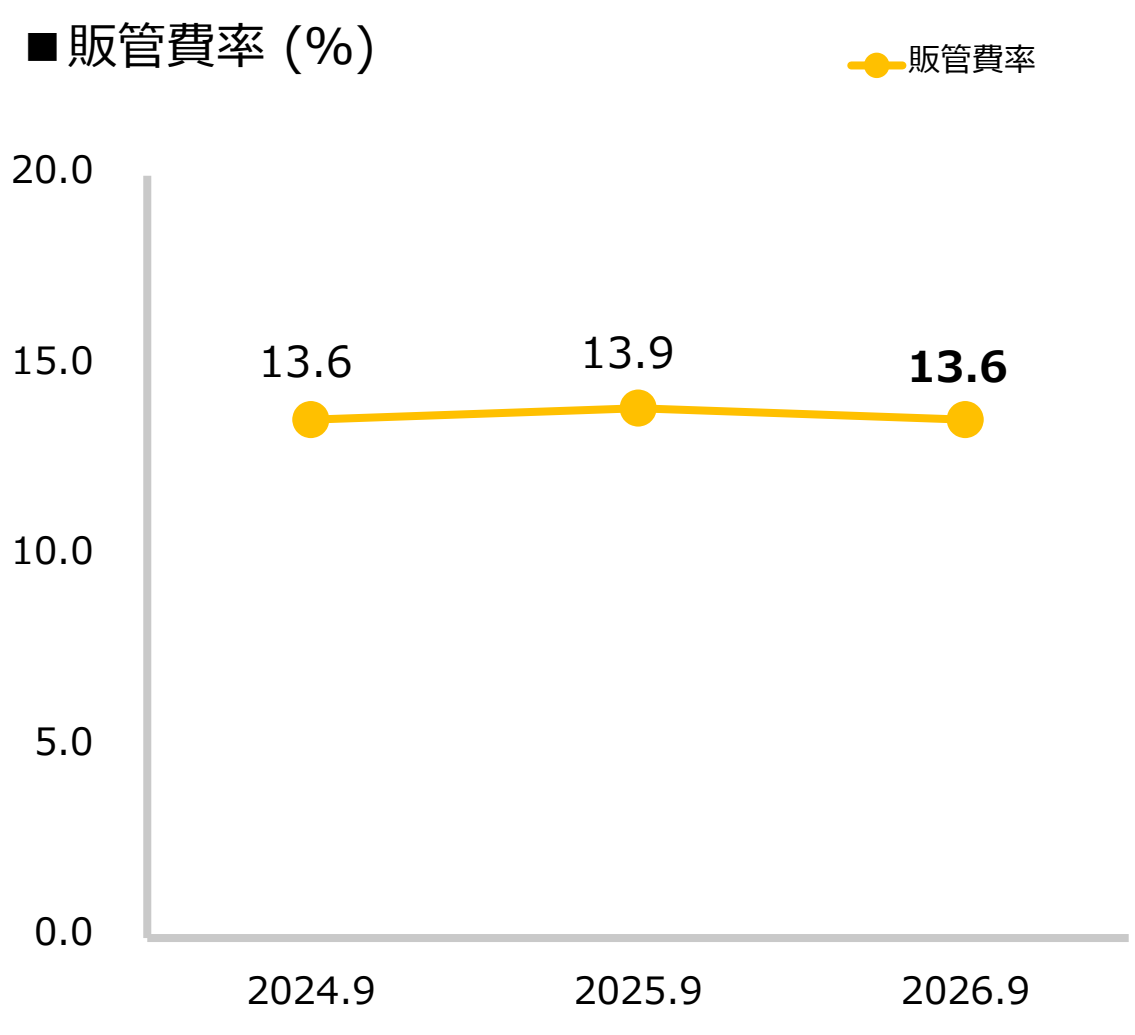
© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

ベースアップによる人件費の増加や、当社のWeb広告及び人材募集に関連する広告宣伝費の増加により販管費が増加したものの、売上高の増加が起因し、販管費率は前年同期比でほぼ横ばいとなった。

■販管費（億円）



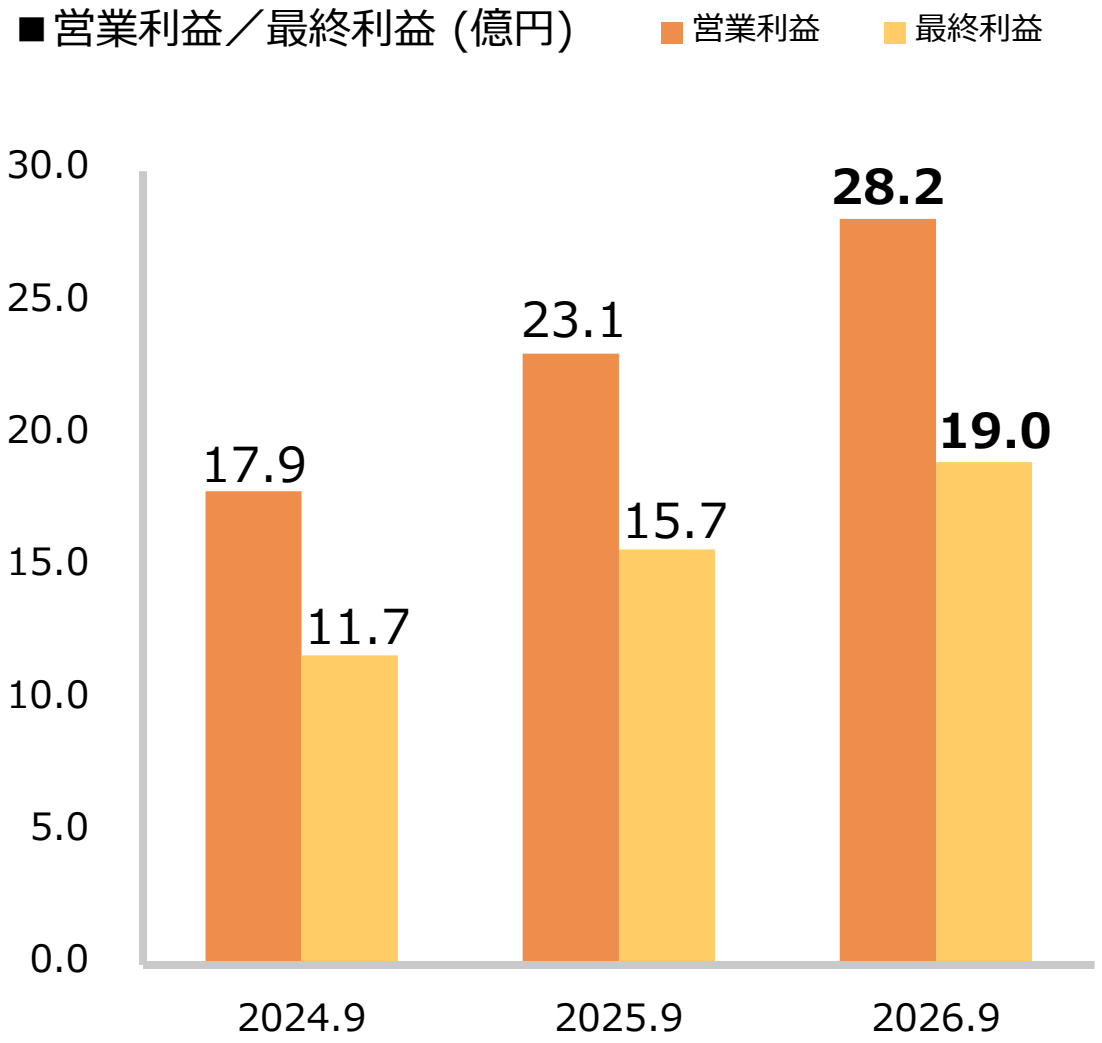
■販管費率（%）

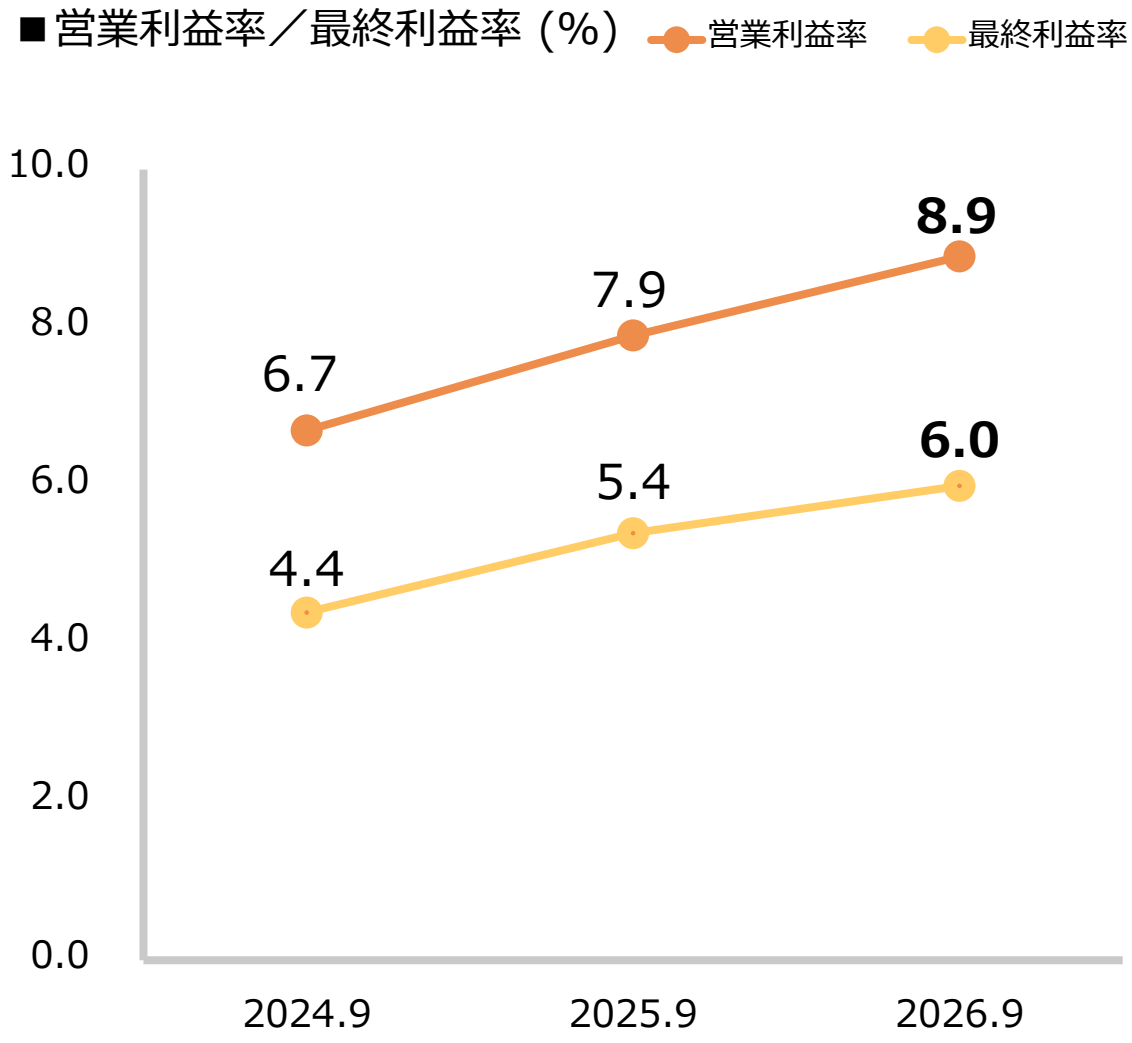


Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～営業利益・最終利益～

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

売上高の堅調な増加及び販管費の増加抑制に伴い、営業利益は2Qにおいて3期連続で過去最高となった。最終利益も2Qにおいて過去最高を記録した。



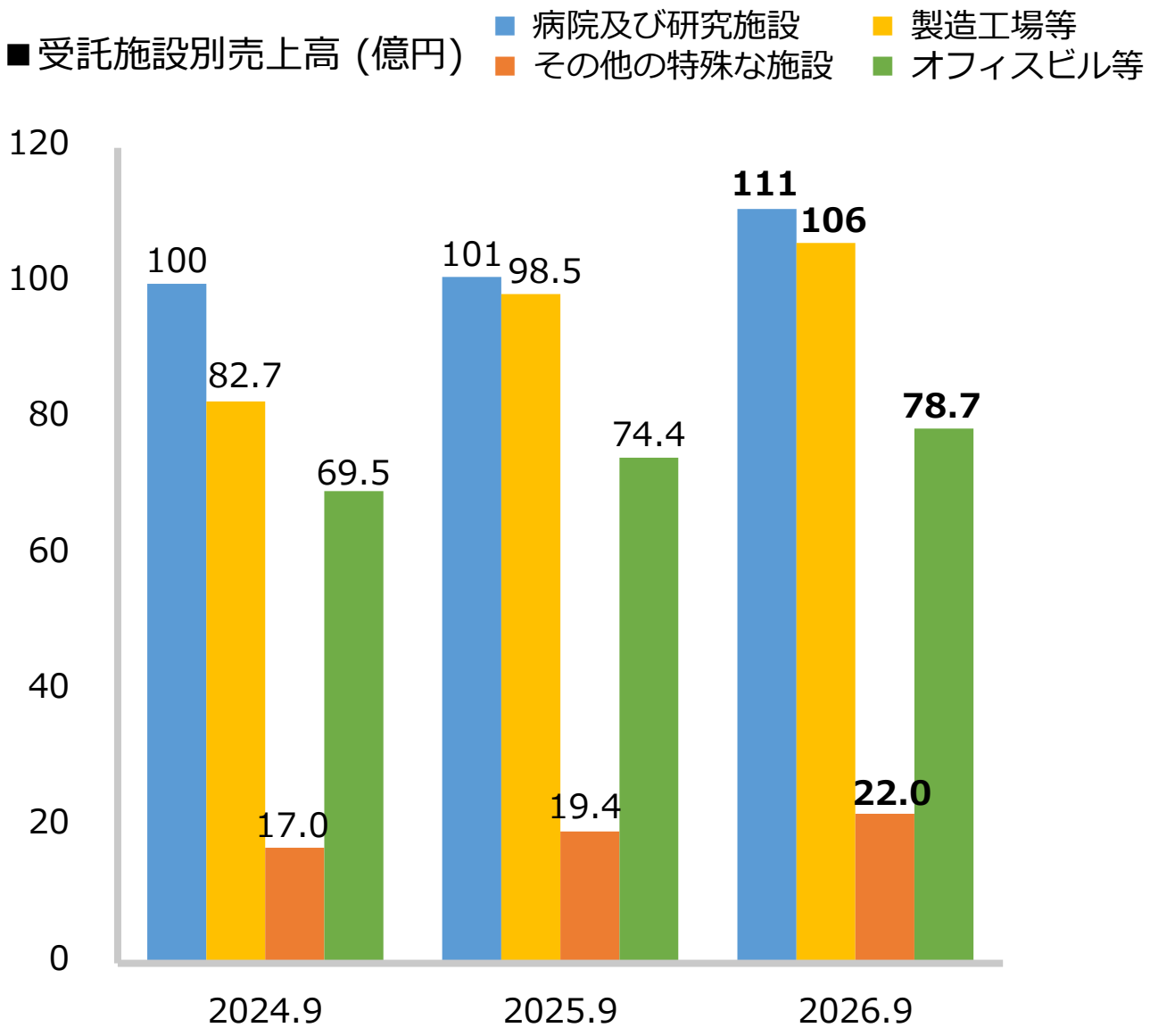


※最終利益は「親会社株主に帰属する当期(中間・四半期)純利益」を指す。

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～受託施設別売上高～

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■受託施設別売上高（億円）



①病院及び研究施設

・メンテ・工事ともに増加。
病院での維持管理業務の適正な値上げに伴う大型案件の売上高増加や、更新・改修工事等案件の増加が寄与。

②製造工場等

・メンテ・工事ともに増加。
機器の更新・設置工事等案件の増加が寄与。

③その他の特殊な施設

・スポーツ施設等での大型工事案件が増加。メンテは少額ながらも、データセンター関連施設での熱源機器試運転・整備等案件の消化が好調。

④オフィスビル等

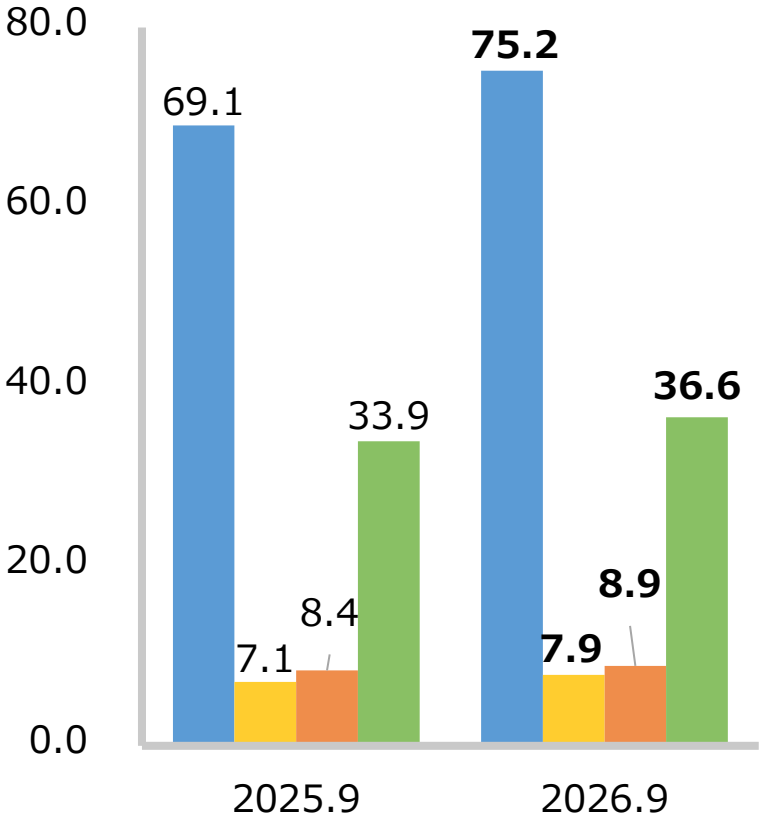
・メンテは、学校での維持管理業務の適正な値上げに伴う大型案件の売上高が増加。工事は、ホテルにおける大型工事案件が増加。

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～年間契約・スポット・リニューアル工事～

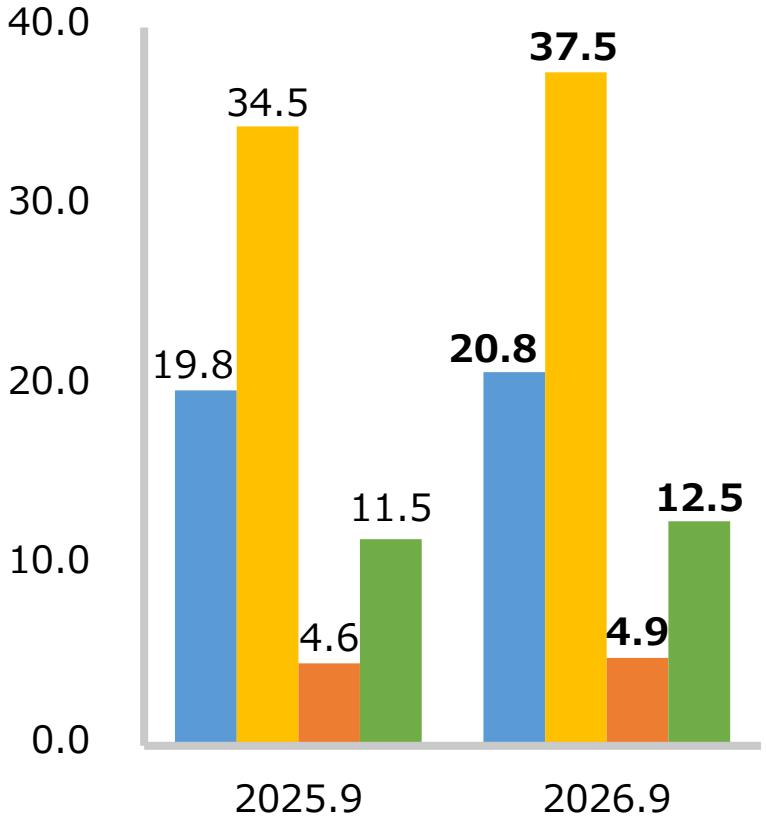
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

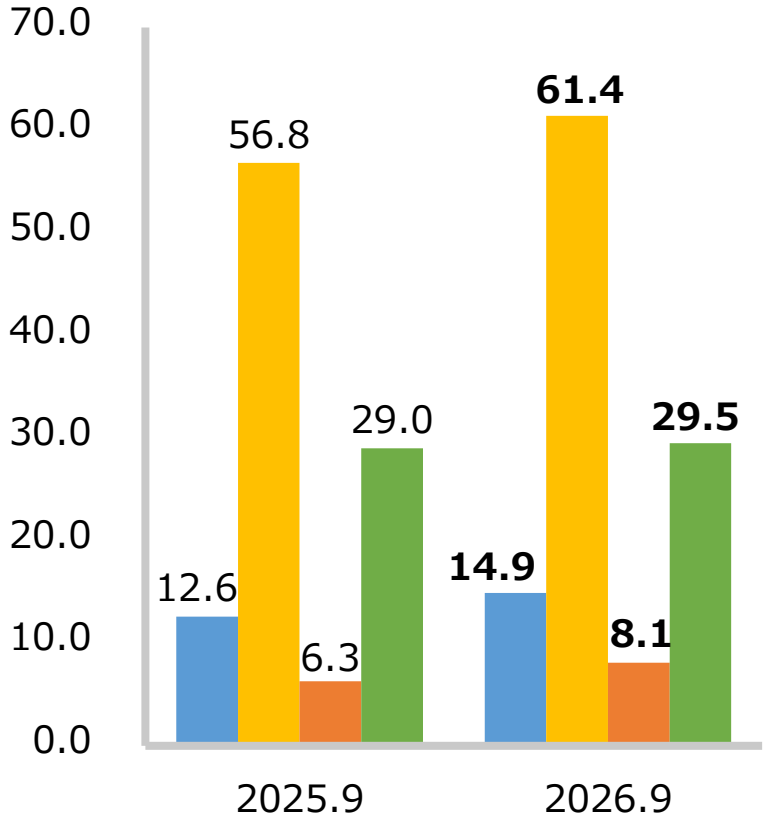
■年間契約売上高 (億円)



■スポットメンテナンス他
売上高 (億円)



■リニューアル工事
完成工事高 (億円)



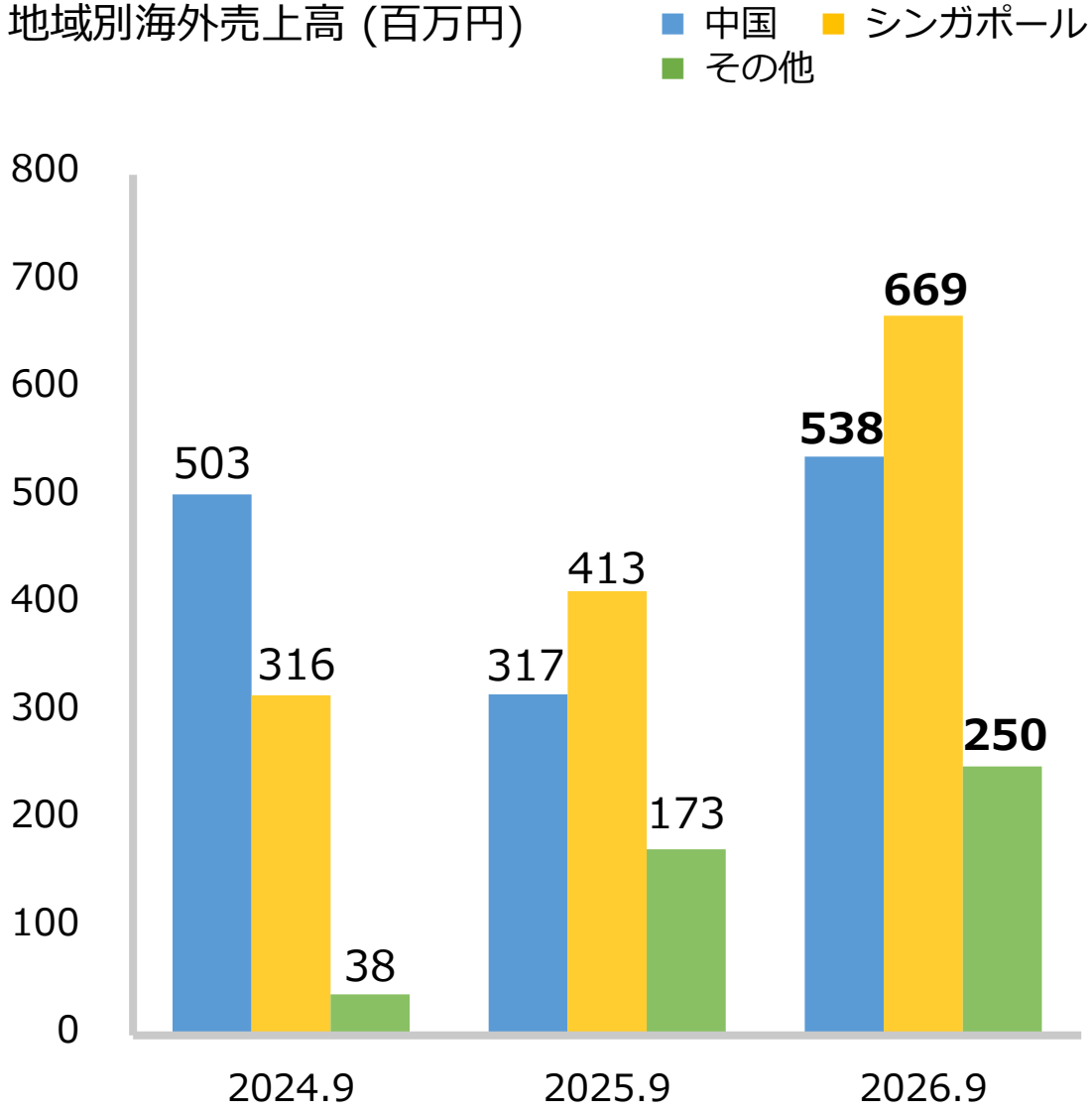
病院及び研究施設
製造工場等
その他の特殊な施設
オフィスビル等

受注件数：2,579件	**2,551件**	
平均単価：4,485千円	**4,909千円**	
受注件数：18,904件	**18,383件**	
平均単価：363千円	**392千円**	
受注件数：2,066件	**2,175件**	
平均単価：4,866千円	**4,913千円**	

※受注件数・平均単価は国内のみ。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

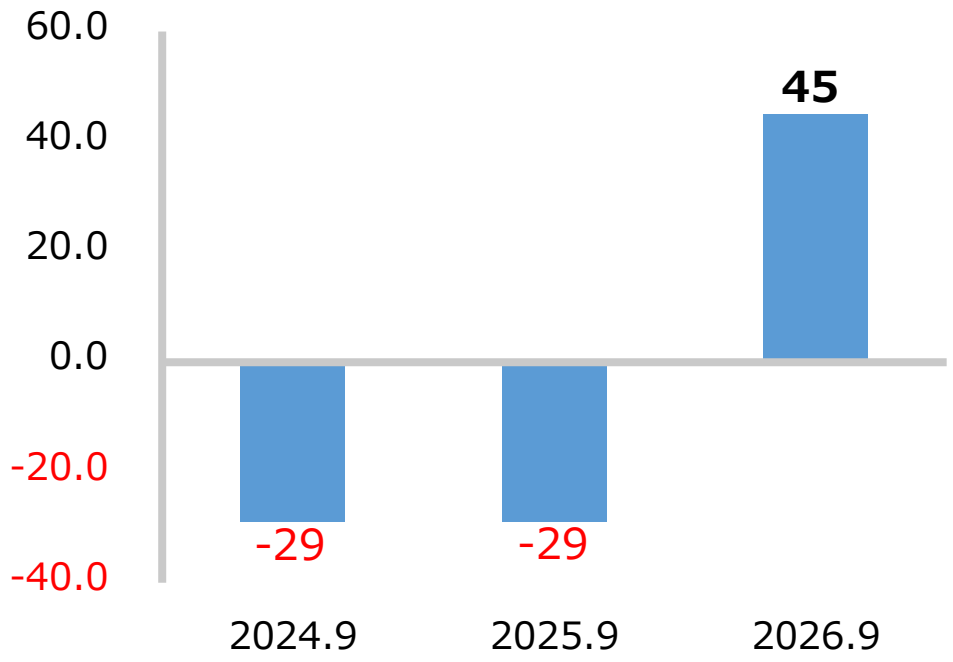
■地域別海外売上高 (百万円)



海外売上高：14.5億円

シンガポールでは大型工事案件の増加により、増収増益となった。他、中国ではメンテナンスが順調に推移し、利益が改善。タイ・ベトナムはともに増収減益となったものの、海外事業全体としては黒字転換となった。

■海外営業利益 (百万円)



※その他はタイ、ベトナム。
※海外売上高・営業利益は、海外グループ各社の単純売上高、単純営業利益を用いて算出。

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～キャッシュ・フローの状況～

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結 (累計期間)	2026.3 2Q		**2027.3 2Q**	
	金額 (億円)	対前年同期 増減額 (億円)	**金額 (億円)**	**対前年同期 増減額 (億円)**
営業 キャッシュ・フロー	16.0	-5.0	**6.8**	**-9.2**
投資 キャッシュ・フロー	-10.7	+8.2	**-7.2**	**+3.5**
財務 キャッシュ・フロー	-10.6	-25.0	**-5.3**	**+5.2**
現金及び現金同等物 増減額	-5.4	-22.3	**-5.4**	**-0.0**
現金及び現金同等物 期首残高	81.4	+18.9	**72.9**	**-8.4**
現金及び現金同等物 中間期末残高	76.0	-3.3	**67.4**	**-8.5**

営業CF 減少

▼

税金等調整前当期純利益が増加したものの、売上債権の減少額が減少したことや賞与引当金の支払等により減少した

投資CF 増加

▼

有形固定資産の取得による支出の減少等により増加した

財務CF 増加

▼

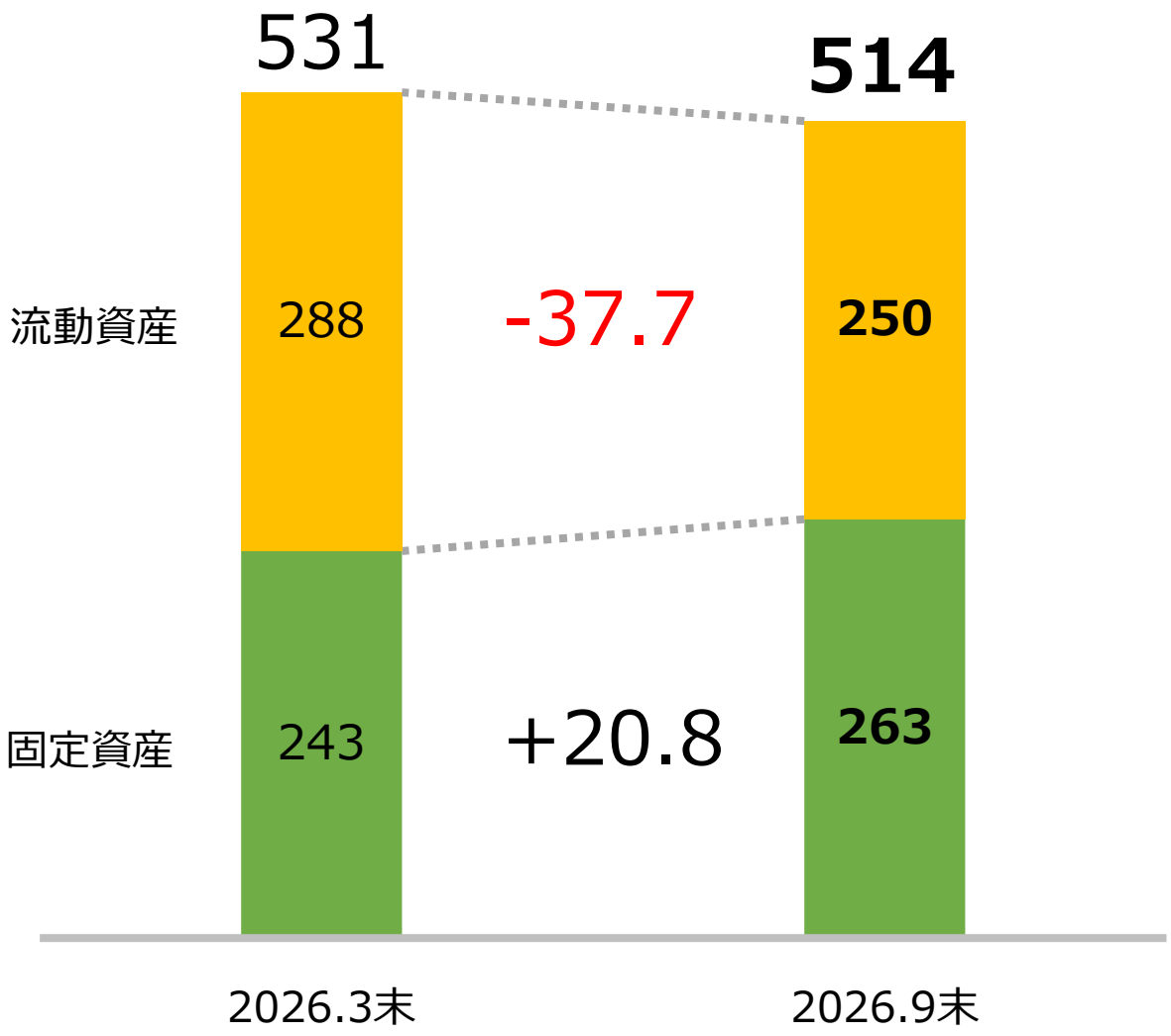
短期借入金及び長期借入金の借入により増加した

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～資産の部～

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■資産の部（億円）



■主な変動要因（億円）

流動資産	-37.7
受取手形・完成工事未収入金等	-48.0
棚卸資産	+11.1
固定資産	+20.8
土地	+5.5
建設仮勘定	+1.1
投資有価証券	+16.2

受取手形・完成工事未収入金等
180億　⇒　131億
▼
年度末に完成が集中することで増加した債権を、今期回収したことにより減少

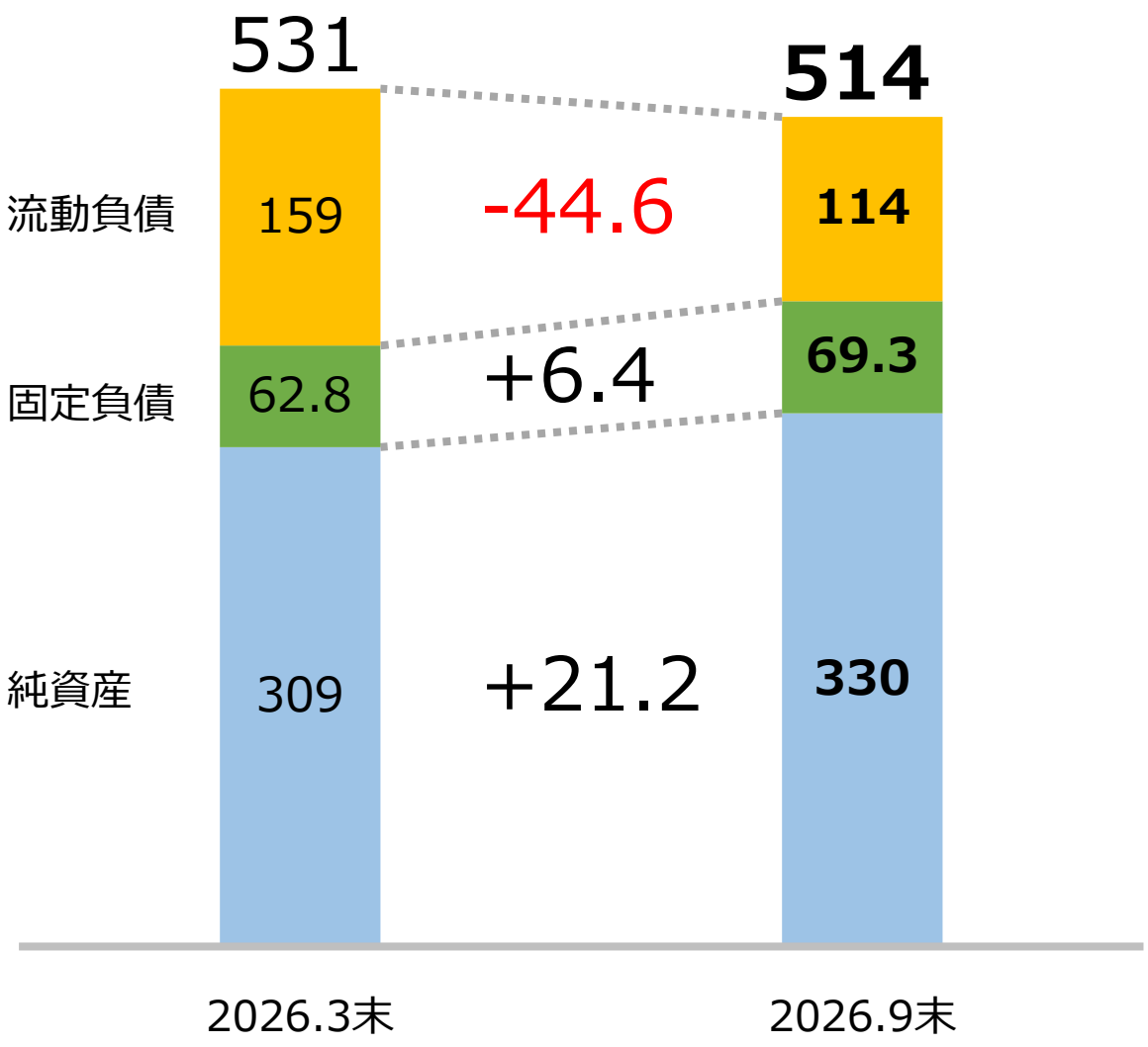
投資有価証券
99.6億　⇒　115億
▼
時価の上昇により増加

Ⅰ．2027年3月期2Q 決算の概要～負債・純資産の部～

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■負債・純資産の部（億円）



■主な変動要因（億円）

流動負債	-44.6
工事未払金等	-19.6
電子記録債務	-10.3
未払費用	-17.9
固定負債	+6.4
長期借入金	+1.3
その他	+4.9
純資産	+21.2
利益剰余金	+8.3
その他有価証券評価差額金	+10.9

工事未払金等
60.7億　⇒　41.1億
▼
年度末に完成が集中することで増加した債務を、今期支払ったことにより減少

未払費用
38.3億　⇒　20.4億
▼
従業員に業績賞与を支払ったことにより減少

Contents

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

Ⅰ. 2027年3月期2Q 決算の概要 p.07-p.21

Ⅱ. 中期経営計画 p.22-p.28

Ⅲ. 株主還元 p.29-p.32

Ⅳ. 補足資料 p.33-p.45

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024年6月7日に発表し、遂行中であった「2024中期5カ年経営計画」を上方修正し、
新たに「2026中期4カ年経営計画」をスタート。

※発表日：（年/月/日）

連結 (累計期間)	2026年3月期 実績		2029年3月期 当初目標 (2024/6/7)		2030年3月期 修正目標 (2026/5/13)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	69,245 百万円	100.0 %	74,000 百万円	100.0 %	**90,000 百万円**	**100.0 %**
営業利益	4,758 百万円	6.9 %	4,300 百万円	5.8 %	**7,200 百万円**	**8.0 %**
経常利益	5,108 百万円	7.4 %	4,500 百万円	6.1 %	**7,600 百万円**	**8.4 %**
親会社株主に帰属する当期純利益	3,696 百万円	5.3 %	3,200 百万円	4.3 %	**5,300 百万円**	**5.9 %**

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

PURPOSE

お客様の事業活動のサステナビリティに寄与し、社会全体の価値向上を図る

MISSION

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、

技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する

VISION

サステナブルな全てのステークホルダーの幸せ向上

VALUE

人的資本の価値向上によるサステナブルな付加価値創出と還元

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

(1)人的資本の強化:エンゲージメントとリクルーティングの拡充による人的資本の強化

01

本業の競争優位性の強化を示す営業利益率の継続的な改善を前提とした、最重要ステークホルダーである従業員に対する処遇の改善

➡ **継続的な営業利益率の改善を前提とした平均5%程度の給与水準の引き上げの実現**

✓ **2026.03（実績） 平均 5.7%**

※給与水準は、全正社員を対象とした定期昇給を含む数値。
※01の数値目標は、当社単体の数値目標。

02

最大の財産である従業員のパフォーマンスを最大化させるエンゲージメントの向上

➡ **エンゲージメントスコア75pt以上の実現**

✓ **2026.03（実績）72.6pt**

※エンゲージメントスコアは、エンゲージメント（組織や仕事に対し貢献意識を持ち、主体的に参加しているか）の計測を目的とした数値。
※02の数値目標は、当社単体の数値目標。

03

企業価値を生み出す源泉となる従業員数の増加

➡ **従業員純増数+100名/年の実現**

✓ **2026.03（実績）+69名**

04

企業価値拡大の加速に不可欠な女性社員数の増加

➡ **正社員における女性社員比率17%の実現**

✓ **2026.03（実績）12.6%**

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

(2)総合技術力の再構築：現場対応能力、管理能力、提案能力、交渉能力、事務処理能力等、総合的な技術力の再構築

05

本業である年間契約、スポット契約、リニューアル工事の売上総利益率の改善

➡ **売上総利益率**

（年間契約+0.5%pt/年
スポット契約+1.0%pt/年
リニューアル工事+1.0%pt/年）の改善

✓ **2026.03（実績）**
年間契約 20.3%
スポット契約 26.2%
リニューアル工事 19.6%

06

高品質サービスの中核となる従業員の技術力を向上させるためのコア技術力指数の向上

➡ **コア技術力指数CAGR 3%以上の実現**

✓ **2026.03（実績）-1.4%**

※コア技術力指数は、中長期的に本業を成長させる上で重要な位置付けとなる公的資格にて算出（技術系公的資格取得数×資格点数÷技術系従業員数）する数値。
※06の数値目標は、当社単体の数値目標。

07

特殊な環境を有する施設を中心とした、事業活動のサステナビリティ向上（環境改善や省エネ等による）を目指すお客様への傾注

➡ **特殊な環境を有する施設と一般的な施設の売上高比率 7：3程度の維持**

✓ **2026.03（実績）**
特殊な環境を有する施設売上高比率 73.1%

※特殊な環境を有する施設は、「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指す。

08

将来の収益基盤としての役割を担う海外事業の拡充

➡ **海外売上高45億円**
海外営業利益2.25億円の実現

✓ **2026.03（実績）**
海外売上高 25.0億円
海外営業利益 -3百万円

※海外売上高及び海外営業利益は、単純合算数値。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

(3)資本政策の策定と実行:企業価値の最大化を目指す複合的なマネジメントの推進

09

長期ビジョンを達成するための利益水準の引き上げ

➡ 営業利益率8%の実現

✓ 2026.03（実績） 6.9%

10

資本効率向上を目的とした投資有価証券の縮減

➡ 投資有価証券の純資産比率15%以下の実現

✓ 2026.03（実績）
純資産比率 32.2%
投資有価証券 9,967百万円
純資産 30,940百万円

11

正のエクイティ・スプレッドの拡大を目指す資本生産性の改善

➡ ROE15%の実現

✓ 2026.03（実績） 13.1%

12

積極的かつサステナブルな株主還元の実施

➡ 累進的な配当を前提とした
配当性向 50%
純資産配当率（DOE）7.5%
従業員持株会加入率 60%の実現

✓ 2026.03（実績）
配当性向 50.6%
純資産配当率（DOE） 6.6%
従業員持株会加入率 37.8%

※投資有価証券の売却益が発生した場合には、当該利益も含めたEPSを基に株主還元を実施いたします。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

いき、続けるために。
やるべきことをやる。

本業の競争優位性を高め、

お客様の事業活動の**サステナビリティ**に寄与する

Contents

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ. 2027年3月期2Q 決算の概要 p.07-p.21

Ⅱ. 中期経営計画 p.22-p.28

Ⅲ. 株主還元 p.29-p.32

Ⅳ. 補足資料 p.33-p.45

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

本業の持続的な成長による利益拡大

▼

「安定的で持続可能な利益還元」

▼

2026中期4カ年経営計画期間中、**累進的な配当**を実施し、同時に**連結配当性向50%**、

ROE15%、**純資産配当率7.5%**とすることで、持続的な利益還元を目指す。

累進的な配当

ROE
15%

持続的な還元

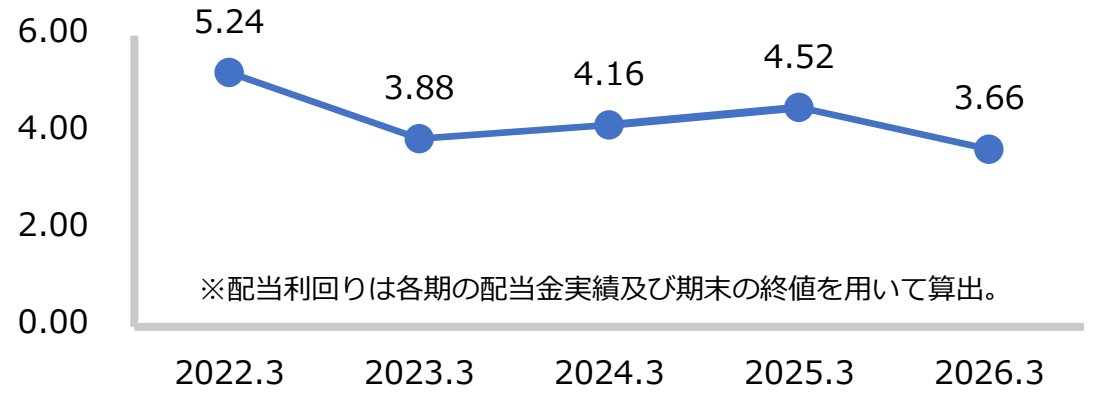
連結配当性向
50%

純資産配当率（DOE）
7.5%

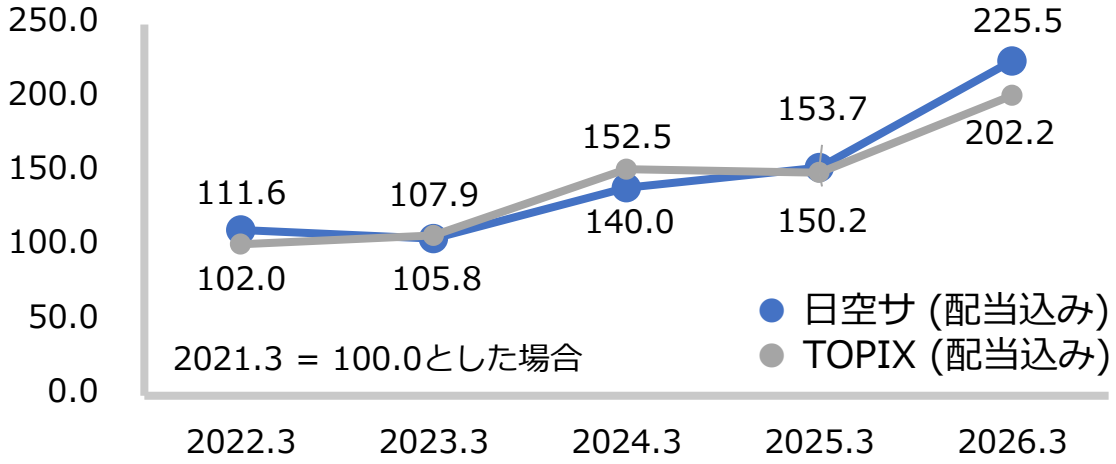
© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

株式情報	
株価	1,405円
時価総額	502億円
配当金	1株当たり57.00円
配当性向	50.7%
配当利回り	4.06%
株主数	31,619名
PER	12.49倍 (EPS：112.52円)
PBR	1.59倍 (BPS：883.78円)
ROE	13.1%

■配当利回り (%)



■株主総利回り (%)

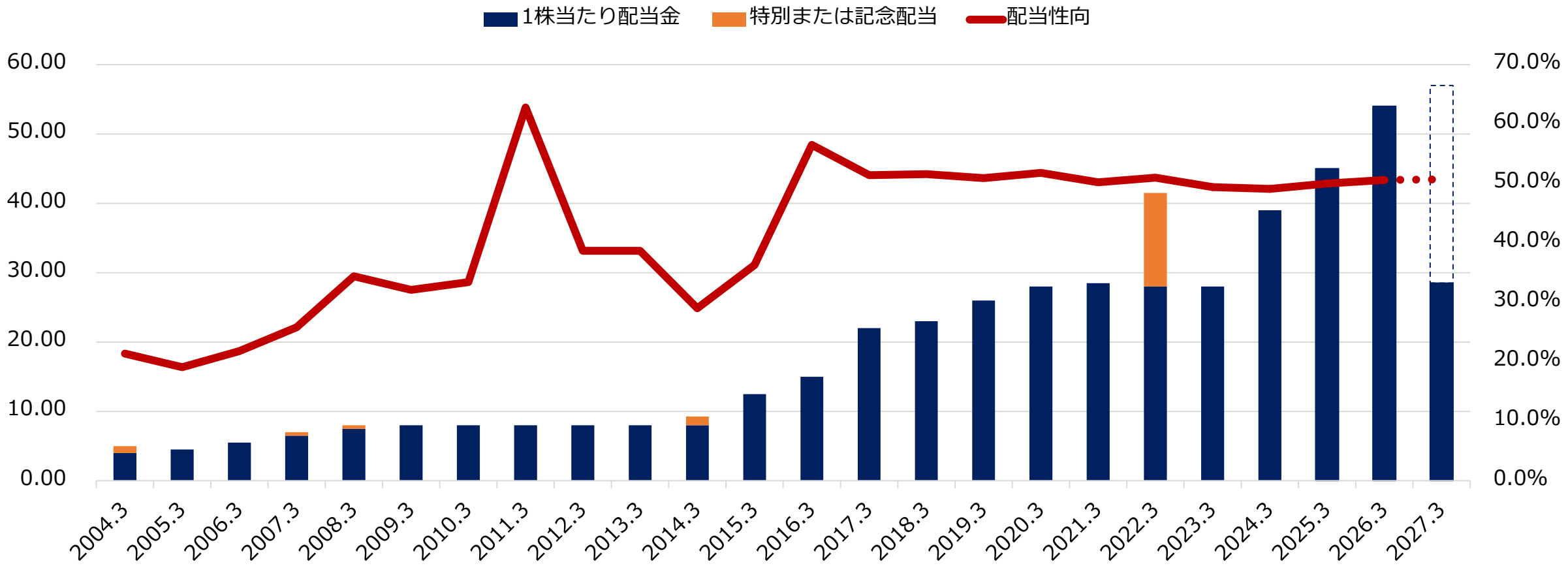


※株価は2026年11月5日時点、配当金・EPSは2027年3月期予想、株主数は2026年9月末時点、BPS・ROEは2026年3月期実績。
※時価総額は2027年3月期2Q発行済株式数(自己株式を含む)を用いて算出。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期は、1株当たり57円（中間配当28.50円、期末配当28.50円）の年間配当を実施予定。

■1株当たり配当金及び配当性向の推移（円、%）



※1株当たり配当金…2014年4月、2016年4月に実施した普通株式1株につき2株の株式分割を調整。
※特別または記念配当…2004.3（1.00円）、2007.3（0.50円）、2008.3（0.50円）、2014.3（1.25円）、2022.3（13.50円）に実施。

Contents

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ. 2027年3月期2Q 決算の概要 p.07-p.21

Ⅱ. 中期経営計画 p.22-p.28

Ⅲ. 株主還元 p.29-p.32

Ⅳ. 補足資料 p.33-p.45

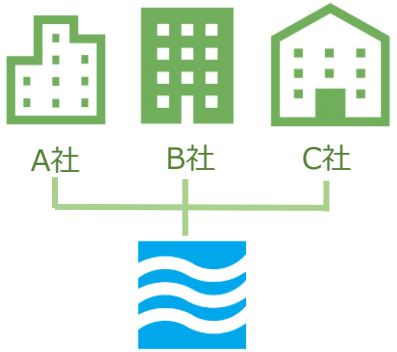
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

①高度な技術力



②メーカーフリー

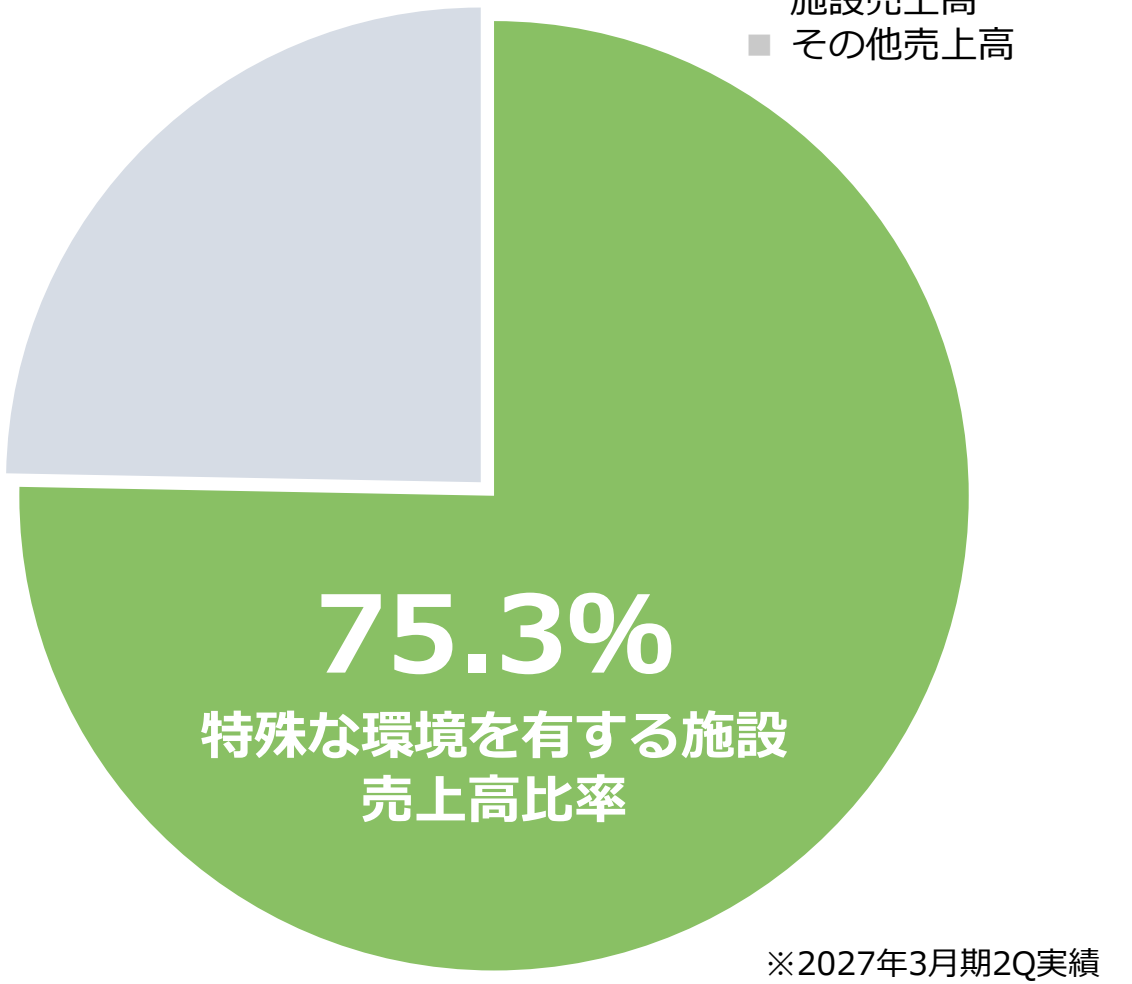


③サービスネットワーク



© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■特殊な環境を有する施設売上高比率（%）



※2027年3月期2Q実績

シビアな環境を要求される

病院や製造工場等では

維持管理に高度な技術力が必要

▼

①同業他社の参入障壁が高い

②スイッチング(切替)コスト及び
サーチ(探す)コストが高い

③需給両面での障壁を築く戦略

※特殊な環境を有する施設は「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」。
※高度な技術力とは、様々な問題点への迅速な対応力と早期改善提案力及び遂行力の高次元維持を指す。

Ⅳ．補足資料～①高度な技術力(病院での業務例)～

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

中央監視業務



日常測定業務



定期メンテナンス業務



＋

ソリューション提案



環境診断業務



消毒・除染業務



こんな環境にできないか？

どうすれば改善できるか？

▼

お客様との対話を通じて

ニーズを引き出し

「付加価値向上をサポート」

▼

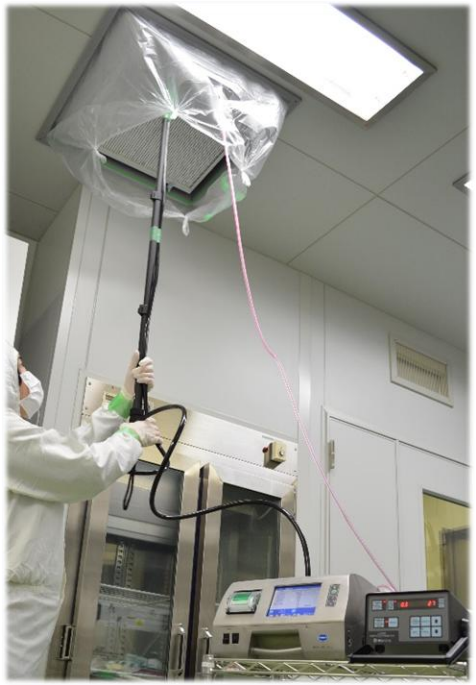
ESG(環境)の観点から

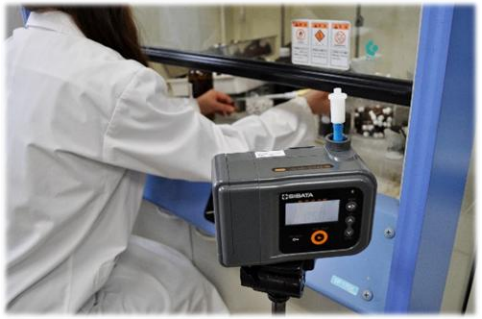
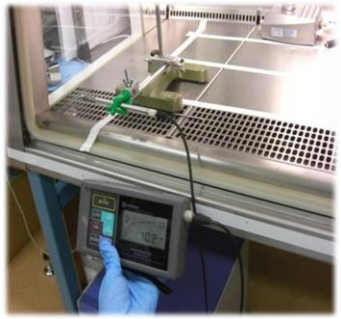
お客様の事業活動の

サステナビリティに繋がる

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

一般的な設備維持管理以外にも、以下のような**技術力**が要求されます







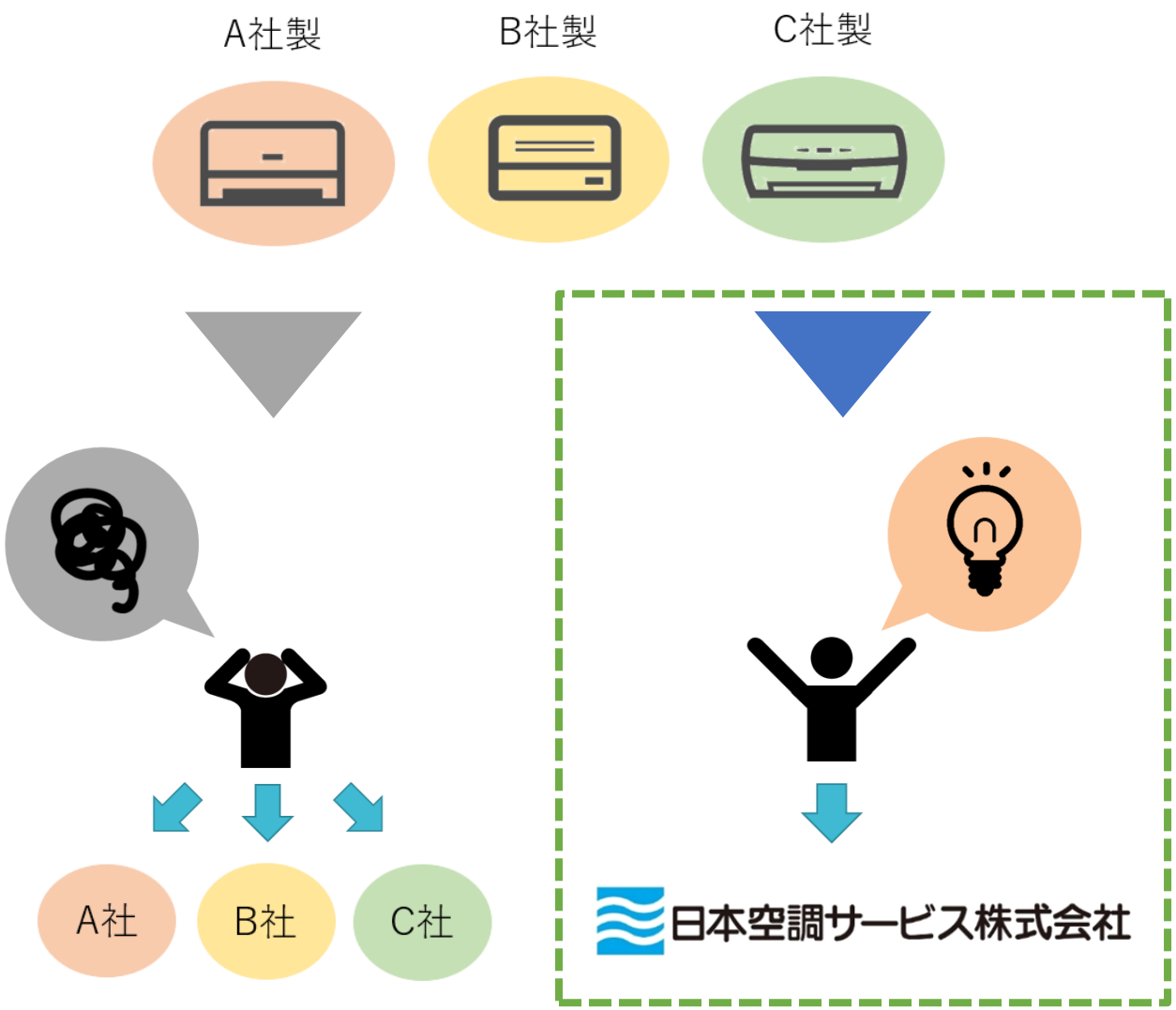




※写真は環境性能測定・診断、クリーン機器メンテナンス、環境衛生管理、高性能フィルタメンテナンス、作業環境測定、安全キャビネット性能点検・除染・滅菌・清掃、作業環境改善対策等。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

顧客施設内の多種多様な設備



①独立系企業のため
　メーカーの制約を受けない
②技術力を有する従業員で
　迅速な自社対応が可能

▼

①お客様に提供するサービスの
柔軟性と多様性により
最適な環境づくりをサポート
②顧客設備担当者の負担軽減

Ⅳ．補足資料～③サービスネットワーク～

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

○日本空調サービス㈱
本社・支店・営業所/**69拠点**

○グループ会社
国内5社/**21拠点**

47都道府県に当社営業所や
グループ会社の拠点があるため、
迅速な対応が可能

日本



※拠点数(住所ベース)は2026年10月31日時点。
※NACS BD Co., Ltd.は連結財務諸表に重要な影響を及ぼさないため、2024年3月期以降は連結の範囲から除外し、持分法適用範囲からも除外。
※NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.はミャンマーの社会情勢が不安定のため、2020年4月以降は営業活動停止中。

海外

○中国
- 蘇州日空山陽機電技術有限公司（連結子会社）
- 上海日空山陽国際貿易有限公司（連結子会社）

○シンガポール
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd（連結子会社）
- NACS Singapore Pte. Ltd.（連結子会社）

○ベトナム
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.（連結子会社）

○タイ
- NACS KUCHO(THAILAND) CO., LTD.（連結子会社）

○ミャンマー
- NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.（連結子会社）

○バングラデシュ
- NACS BD Co., Ltd.（非連結子会社）

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本国内の空調・熱源システム市場※1は

2.5兆円程度と推定

▼

そのうちメンテナンスの主戦場となる既設案件は65%程度※2

▼

当社がターゲットとする主な市場は

1.6兆円程度と推測

※富士経済「HVAC機器・関連ビジネス市場の全容 2024」より、※1「空調 施工エンジニアリング市場」及び「空調 保守メンテナンス市場」の2023年実績値を合算。
※2 同 新築/既築別市場2023年実績値を基に算出。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社は、メーカーを問わずメンテナンスからリニューアル工事までトータルサポートが可能な独立系企業であり、

同一の事業内容を有する上場企業は存在しない。

	当社	A社	B社	C社
当社との類似点		独立系企業	独立系、ビルメンテナンス企業	独立系、専門設備工事企業
時価総額 (億円)	**502**	2,789	100	336
PER (倍)	**12.49**	34.01	9.39	5.71
PBR (倍)	**1.59**	11.34	0.94	0.99
ROE (%)	**13.1**	32.9	12.4	12.2
売上高 (億円)	**692**	576	309	617
営業利益 (億円)	**47**	110	15	39
営業利益率 (%)	**6.9**	19.1	4.9	6.4
平均年間給与(万円)	**724**	709	453	774
平均年齢(歳)	**40.2**	42.2	49.7	43.4

※株価は2026年11月5日終値、EPSは2027年3月期予想、BPS・ROE・売上高・営業利益・営業利益率・平均年間給与・平均年齢は2026年3月期実績。
※時価総額は各社2027年3月期1Q発行済株式数(自己株式を含む)を用いて算出。ただし、C社は2026年10月1日付で1株につき4株の株式分割を実施しているため、時価総額は分割後の発行済株式数を反映し、EPS予想・BPS及びこれらに基づく指標(PER・PBR)は当該株式分割後の基準(4分割後換算)に遡及調整して算出。

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■600床以上の病院における受託割合

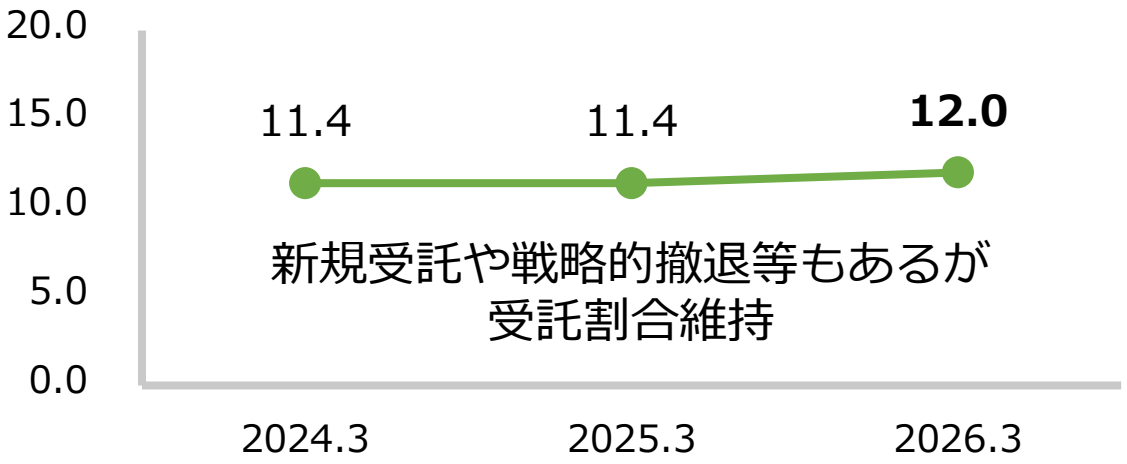


■ 当社
■ その他

12.0%

病床数ベース
(2026年3月末時点)

■同受託割合推移 (%)



※受託割合は厚生労働省「医療施設動態調査」を用いて算出。

特殊な環境を有する施設における
長年の実績をベースとした
大規模病院の施設維持管理に強み

▼

統括管理・環境性能維持

▼

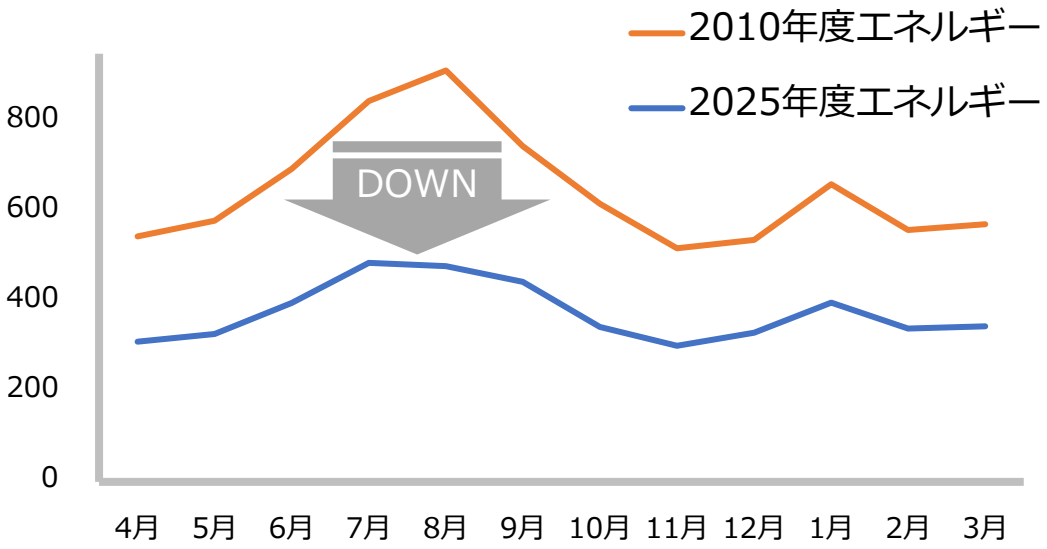
施設の安定稼働と省エネの
両立による施設運営最適化を実現させる

Ⅳ．補足資料～病院における省エネ実績（一例）のご紹介～

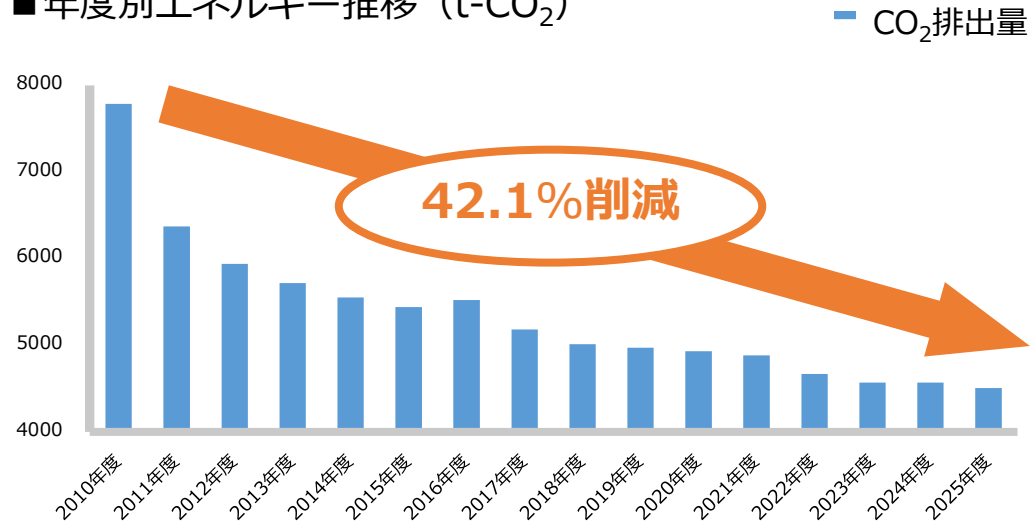
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■年間エネルギー推移（t-CO_2）



■年度別エネルギー推移（t-CO_2）



東京都内にある

中規模病院（450床規模）での事例

延床面積：約48,000㎡

▼

徹底的な現場把握ときめ細かな運営管理を

継続することにより、大幅な省エネに成功

病院は院内環境の最適化を

最優先に考える必要がある

▼

設備管理の視点から

設備稼働における「余分」を発見し、

その「余分」にアプローチしていくことで、

当社独自の視点による省エネを実現する

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

特許1つ目（2023年4月）

安全かつ効率的に

作業を行える

微生物除染手法

より安全に

特許2つ目（2023年11月）

酢酸と**オキシドール**を用いた

(低濃度の酢酸)（低濃度の過酸化水素溶液)

劇物を使用しない、

より安全な**微生物除染手法**

より簡便に

特許3つ目（2025年9月）

酢酸とオキシドールの混液を用いた

(低濃度の酢酸)　(低濃度の過酸化水素溶液)



劇物を使用しない、

安全かつ簡便な**微生物除染手法**

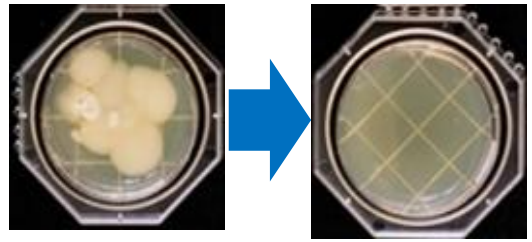
医薬・医療関連研究施設

大規模病院

医薬工場

食品･飲料工場

etc.



© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社グループがお客様の事業活動のサステナビリティ向上を目指す上で、気候変動に関わるリスクは大きいと考えており、2024年4月より気候変動イニシアティブへの対応を本格的に開始。

■取り組みの進捗

2025年4月

TCFD提言に基づく情報開示

2025年7月

SBT認定取得

2025年10月

EcoVadis 再評価実施

2025年12月

CDP 初回答及び「B」評価取得

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

CDP Discloser 2025

Disclaimer

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2026 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料は、日本空調サービス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。
本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いします。

ステークホルダーの皆様に
ヨ ロ コ バ
４６５８れる企業を目指します。

IR Div.　経営企画部
Phone　052-773-2875
E-mail　ir4658@nikku.co.jp
Website　www.nikku.co.jp



IRメール配信のご登録はこちらから



当社の強み紹介動画ご視聴はこちらから